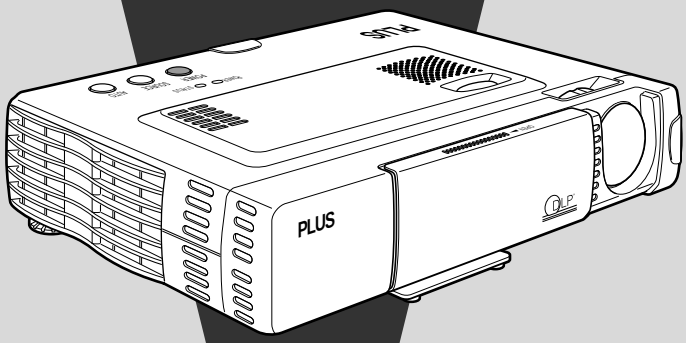
PLUS

デジタルプロジェクタ
U3-1100SF/U3-1100Z
U3-810SF/U3-810Z

取扱説明書



準備と予備知識

接続する

使用する

メニュー画面を操作する

その他

はじめに

このたびは、プラスデジタルプロジェクタU3-1100SF/U3-1100Z/U3-810SF/U3-810Zをお買い求めいただき、まことにありがとうございました。
この取扱説明書をよくお読みになり、ご理解のうえ正しくご使用ください。なお、お読みになった後は、保証書とともに大切に保管してください。

本書は形名 U3-1100SF/U3-1100Z/U3-810SF/U3-810Z の共通取扱説明書です。

説明上の違いは、フル表示の解像度と光学的ズーム機能の有無です。

U3-1100SF … 1024×768（XGA）フル表示、ズーム機能無し。
U3-1100Z …… 1024×768（XGA）フル表示、ズーム機能有り。
U3-810SF …… 800×600（S-VGA）フル表示、ズーム機能無し。
U3-810Z …… 800×600（S-VGA）フル表示、ズーム機能有り。

本書はズーム機能がない機種で主に説明し、必要な箇所のみズーム機能のある機種の説明をしています。

主な特長

● **単行本サイズ、軽量（約1.5kg）にして、高輝度（1000ANSIルーメン）**
DMD™ と独自の光学設計の相乗効果で、光の利用効率を向上。カラー表現に必要な3原光(RGB)を1枚のDMD™で再現。これにより、高輝度化と小型・軽量化を可能にしました。

● **鮮明で、クリアな画像**
RGBの色ズレがなく、ひとつひとつのドット(点)の隙間が目立たないので、小さな文字や図表などをくっきりと明瞭に表示。近づいて見れば、さらにその違いがわかります。

● **DVDなど高画質の情報ソースを再現すると際立つ、美しさ。**
階調を忠実に再現することで、より自然な画像を表示できます。とくに、DVDをはじめとする高画質の情報ソースほど、デジタルプロジェクタが本来持つ表示能力を引き出します。

● **目線の高さに投影するとき、画面が台形に歪まない**
投影する位置を予め目線の高さに設定してあるため、画面が台形に歪む現象が起きづらくなっています。目線以外の高さに投射するときも、KEYSTONE(キーストーン)調整で台形の歪みを補正することができます。

● **リアルXGA対応で、S-XGA圧縮表示（U3-1100SF/U3-1100Z）**
S-XGAを表示する際、間引きされた情報を補完しているため、文字欠けなどがありません。

リアルS-VGA対応で、XGA圧縮表示（U3-810SF/U3-810Z）
XGAを表示する際、間引きされた情報を補完しているため、文字欠けなどがありません。

登録商標について

＊ DMD™(Digital Micromirror Device)は、米国テキサスインスツルメンツ社の登録商標です。
＊ Macintosh、Power Bookは米国アップルコンピューター社の商標または登録商標です。
＊ IBM、VGA、XGA、SXGAは米国International Business Machines Corporationの商標または登録商標です。
＊ S-VGAはVideo Electronics Standards Associationの登録商標です。
＊ DOS/Vは日本アイ・ビー・エム(株)の商標です。
なお、各社の商標および製品商標に対しては特に注記のない場合でも、これを十分尊重いたします。

注意
　この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

（1）本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。
（2）本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
（3）本書は内容について万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気付きのことがありましたらご連絡ください。
（4）本機の使用を理由とする損害、逸失利益等の請求につきましては、当社では（3）項にかかわらず、いかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。
（5）乱丁、落丁はお取り替えいたします。

目次

安全のために 4

使用上のお願い 11

準備と予備知識 **12**

付属品を確認する 12
各部のなまえ 14
リモコンを準備する 17
設置する 18

接続する **20**

ビデオ機器を接続する 20
IBM PC／AT、Macintoshを接続する 22

使用する **24**

プロジェクタを使用する 24
リモコンの使い方（入力を選ぶ） 27
リモコンをパソコンのマウスとして使う 28
ご使用中の便利な機能 29

メニュー画面を操作する **32**

メニュー画面の構造 32
画像を調節する（ノーマルメニュー） 34
パソコン画像をマニュアル調整する 36
リセットする 39
画像を細かく設定する（アドバンストメニュー） 40
映像内容に合わせた設定にする 42
初期設定をする 44
メニューを設定する 47

その他 **50**

故障かな? と思ったら 50
STATUS（ステータス）インジケータが点灯／点滅しているときは 51
ランプカートリッジを交換する 52
お手入れについて 54
仕　様 55
外観図 56
RGB入力端子と信号の関係 57
アフターサービス ..... 裏表紙

安全のために

絵表示について　この「取扱説明書」および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠ **警告**	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡や大けがをするなど人身事故の原因となります。
⚠ **注意**	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人がけがをしたり周囲の家財に損害をあたえたりすることがあります。

絵表示の例

△ 記号は注意（警告を含む）を促すことを表しています。
図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。

⃠ 記号はしてはいけないことを表しています。
図の中や具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

● 記号はしなければならないことを表しています。
図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜く）が描かれています。

必ず守ってください

⚠ 警告

不安定なところには置かない

不安定な設置禁止

- ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となります。

故障したままの使用はしない

電源プラグをコンセントから抜く

すぐ修理依頼を

- 万一、煙が出ている・変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。
  すぐに電源を切り、そのあと必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
  煙が出なくなるのを確認してから販売店または、弊社「カスタマーセンター」に修理を依頼してください。
  お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。
- 取扱説明書に従って正しく使用してもなお画面が映らない、音が出ないなどの故障状態で使用しないでください。火災・感電の原因となります。
  すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店または、弊社「カスタマーセンター」に修理を依頼してください。
  お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。

衝撃を与えない

電源プラグをコンセントから抜く

すぐ修理依頼を

- 万一、本機を落としたり、破損してしまった場合は、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店、または弊社「カスタマーセンター」にご連絡ください。
  そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

水場や水にぬれるようなところには置かない

水場での使用禁止

水ぬれ禁止

- 風呂場やシャワー室では使用しないでください。火災・感電の原因となります。
- 本機に水を入れたり、ぬらしたりしないようにご注意ください。
  火災・感電の原因となります。
- 雨天や降雪中・海岸・水辺での使用は特にご注意ください。
  火災・感電の原因となります。
- 本機の上に花びん・植木鉢・コップ・化粧品・薬品や水などの入った容器または小さな金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。

電源プラグをコンセントから抜く

すぐ修理依頼を

- 万一、本機の内部に水などが入った場合は、まず電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店、または弊社「カスタマーセンター」にご連絡ください。
  そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

（次ページへ続く）

⚠ 警告

雷が鳴りだしたら、電源プラグに触れない

- 雷が鳴りだしたら、電源プラグには触れないでください。
  感電の原因になります。

電源プラグの刃および刃の付近の付着物はとる

- 電源プラグの刃および刃の付近にほこりや金属物が付着している場合は、電源プラグを抜いてから乾いた布で取り除いてください。そのままで使用すると火災・感電の原因となります。

電源コードの取り扱いは大切に

電源コードの傷つけ禁止

- 電源コードの上に重いものをのせたり、コードが本機の下敷きにならないようにしてください。コードに傷がついて、火災・感電の原因となります。
  コードの上を敷物などで覆うことにより、それに気付かず重いものをのせてしまうことがあります。

電源コードの加工禁止

- 電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。
  コードが破損して、火災・感電の原因となります。

電源コードが傷んだら販売店へ交換依頼を

- 電源コードが傷んだら(芯線の露出・断線等)販売店に交換をご依頼ください。
  そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

キャビネットは絶対にはずさない

分解禁止

感電注意

- 本機のキャビネットをはずしたり、あけたりしないでください。
  内部には電圧の高い部分がありますので、感電の原因となります。

内部の点検・修理は販売店へ

- 内部の点検・調整・修理は販売店、または弊社「カスタマーセンター」にご相談ください。

改造しない

改造禁止

- 本機を改造しないでください。
  火災・感電の原因となります。

⚠ 警告

内部に物を入れない

異物挿入禁止

- 本機の通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなど異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。
  特にお子様のいるご家庭や場所ではご注意ください。

電源プラグを
コンセントから抜く

すぐ修理依頼を

- 万一、異物が本機の内部に入った場合は、まず電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店、または弊社「カスタマーセンター」にご連絡ください。
  そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

表示以外の電圧で使用しない

定格電圧
以外使用禁止

- 表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。
  火災・感電の原因となります。

ランプ交換について

- ランプの交換はリモコンまたは本体のＰＯＷＥＲボタンを押して電源を切り、POWERインジケータの**点滅**が**点灯**に変わったのを確認したあと、電源プラグをコンセントから抜いて約60分（ランプカートリッジの冷える時間）おいてから行ってください。
  動作中や停止後にランプを交換すると高温のため、やけどの原因となります。
  ランプの交換手順につきましては52ページの「ランプカートリッジを交換する」をお読みください。

次のようなところでは使用しない

- ぐらついた台の上、傾いた所など不安定な場所で使用しないでください。
  転倒・落下などして火災・感電の原因となります。
- 本機を暖房の近くや振動の多い所で使用しないでください。火災の原因となります。
- 湿気やほこりの多い場所で使用しないでください。火災・感電の原因となります。
- 油煙や湿気の当たるような場所（調理台や加湿器のそばなど）で使用しないでください。火災・感電の原因となります。

レンズをのぞかない

レンズをのぞかない

- レンズをのぞかないでください。
  動作中は強い光が投写されていますので、目を痛める原因となります。
  特にお子様にはご注意ください。

（次ページへ続く）

⚠ 注意

お手入れについて

**電源プラグを
コンセントから抜く**

- お手入れの際は、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。
  詳細は54ページをご覧ください。

電池の取り扱い

- 電池の取り扱いには注意してください。火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

・電池をショート、分解、火に入れたりしない
・指定以外の電池は使用しない
・新しい電池と古い電池を混ぜて使用しない
・電池を入れたまま長期間放置しない

・電池をリモコンに入れる場合、極性表示（プラス＋とマイナスーの向き）に注意し、機器の表示通りに入れる
・使いきった電池はすぐに機器から取り出す
・直射日光・高温・高湿の場所を避けて保管する
・電池を廃棄するときは、その地域の回収方法に従ってください。

通風孔をふさがない

**通風孔を
ふさがない**

- 本機の通風孔をふさがないでください。
  通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。次のような使い方はしないでください。
  たとえば本機を床や台などにあお向け・横倒し・逆さまに置いて使用する。
  また、押し入れや本箱などの風通しの悪いところに押し込む・ジュータンや布団の上に置く・テーブルクロスなどを掛ける。

周囲に間隔をあける

- 本機を設置する場所は周囲から適当な空間をあけてください。
  目安として10cm以上の間隔をあけてください。

**本機の下に
紙や布などを
置かない**

- 本機の下に紙や布などの柔らかい物を置かないでください。
  底面の吸気孔に吸い付いて内部の温度が上り、火災の原因となることがあります。

部品が割れた際は修理依頼を

**部品割れは
修理依頼を**

- 本機内部にはレンズやフィルタ、ランプなどのガラス部品を多数使用しています。
  万一、部品が割れた際には、破片でけがなどをしないように取り扱いに注意し、販売店、または弊社「カスタマーセンター」に修理を依頼してください。

⚠ 注意

次のようなことはしない

禁止

- キャスター付き台に本機を設置する場合にキャスター止めをしてください。動いたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。
- リモコンのPOWERボタンを押して電源を入れた後、1分間はスタンバイ状態にできません。また、 スタンバイ状態にした後は1分間は電源が入りません。電源を入れた直後は、ランプに非常に高い電圧がかかります。そのためランプのON、OFFを短時間にくり返すとランプの劣化および破損・本機の故障の原因となることがあります。本体のPOWERボタンの操作も同様です。

電源コード・電源プラグについて

熱器具を近付けない

- 電源コードを熱器具に近付けないでください。コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

電源コードを引っ張らない

- 電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。

濡れた手は危険

- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。

移動するときは接続線をはずしてから

- 移動させる場合は、電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、機器間の接続ケーブル、転倒防止をはずしたことを確認の上、行ってください。接続したまま移動させるとコードに傷が付き、火災・感電の原因となることがあります。

電源プラグをコンセントから抜く

- 本機の使用が終わったら、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。ただし、電源を切ったあと、POWERインジケータがオレンジ色に点滅している間は冷却装置が働いていますので、電源プラグは抜かないでください。オレンジ色の点滅中に電源プラグを抜くとランプの寿命が短くなり、本体を傷める原因にもなります。
  電源プラグはPOWERインジケータがオレンジ色の点灯に変わって（スタンバイ状態になって）から抜いてください。

- 電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込んでください。差し込みが不完全ですと発熱したりほこりが付着して火災の原因となることがあります。また、電源プラグの刃に触れると感電することがあります。

（次ページへ続く）

⚠ 注意

点検・工事について

内部の掃除を
販売店で

- 1年に一度くらいは内部の掃除を販売店、または弊社「カスタマーセンター」などにご相談ください。
  本機の内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。
  特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。なお、内部掃除費用につきましては販売店、または弊社「カスタマーセンター」などにご相談ください。

キャリングケースの取扱上の注意

無理な扱いはしない

- 本機を入れて振り回さないでください。また、無理なサイズのものは入れないでください。
  移動の際に本機の傷や故障の原因になることがあります。

使用上のお願い

性能確保のため、次の点にご留意ください。

1. 持ち運びについて

本機を使用しないときは、必ずスライド式レンズシャッターを閉じてください。レンズに傷がつくのを防ぎます。
また、本機を持ち運ぶときは、付属のキャリングケースを使用してください。そして、レンズに傷がつかないように必ずスライド式レンズシャッターを閉じてください。また、デジタルプロジェクタ本体には強い衝撃を与えないでください。

2. お使いになる時は

本機をご使用になるときは、必ずスライド式レンズシャッターを開けてください。

3. 投写レンズ面は素手でさわらないでください

投写レンズ面に指紋や汚れがつくと、充分な画質が得られませんので、レンズ面には手をふれないでください。また、本機を使用されないときは、スライド式レンズシャッターを閉じてください。

4. スクリーンについて

ご使用のスクリーンに汚れ、傷、変色などが発生すると、きれいな映像が見られません。
スクリーンに揮発性のものをかけたり、傷や汚れが付かないよう取り扱いにご注意ください。

5. リモコンについて

本機の操作の大部分はリモコンで行います。リモコンをなくさないようにご注意ください。

6. 振動や衝撃が加わる場所への設置は避けてください

動力源などの振動が伝わる所に設置したり、車両、船舶などに搭載すると、本機に振動や衝撃が加わって内部の部品がいたみ、故障の原因となリます。振動や衝撃の加わらない場所に設置してください。

7. 高圧電線や動力源の近くに設置しないでください

高圧電線、動力源の近くに設置すると、妨害を受ける場合があります。

8. 廃棄について

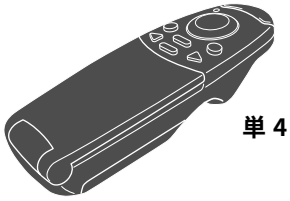
本体廃棄の際は、お買いあげの販売店、または自治体にお問い合わせください。

付属品を確認する

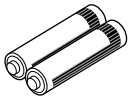
本体と付属品を箱から取り出して、次のものが同梱されていることをご確認ください。
（ ）内の数字は数量です。

■ リモコン関連 …16、17 ページ参照

リモコン（1）

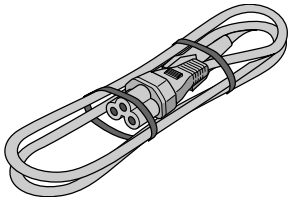


単 4 乾電池（2）



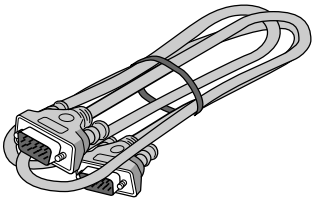
■ 電源コード …24 ページ参照

電源コード（1）［1.8m］

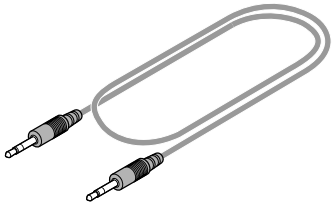


■ パソコン（RGB 端子）接続関連 …21, 22 ページ参照

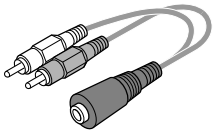
RGB 信号ケーブル（1）
［ミニ D-Sub15 ピン、1m］



オーディオケーブル（1）
［音声接続用、1m］

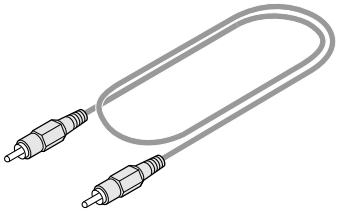


オーディオ変換ケーブル（1）
［ミニジャック - ピン変換、0.15m］

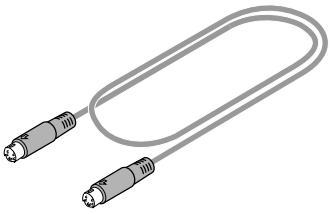


■ ビデオ機器（ビデオ端子）接続関連 …20 ページ参照

ビデオケーブル（1）
［1m］

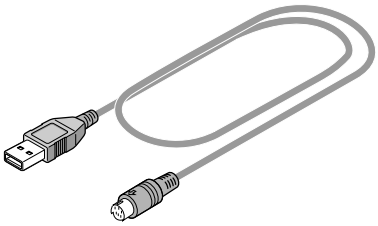


S- ビデオケーブル（1）
［1m］

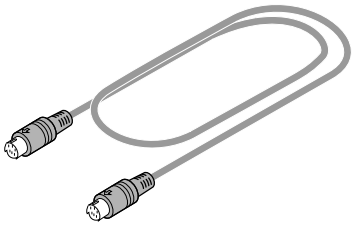


■ リモコンをマウスとして使用するときの付属品 …28 ページ参照

USB マウスケーブル（1）
［1m］【DOS/V ／ Macintosh 用】

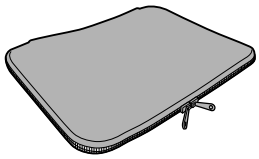


PS/2 マウスケーブル（1）
［1m］【DOS/V 用】



■ インナーバッグ

インナーバッグ（1）



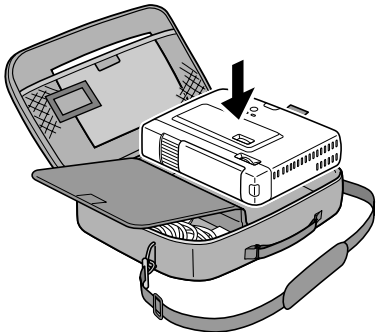
※）保管時に本体を傷から守ります。

■ キャリングケース

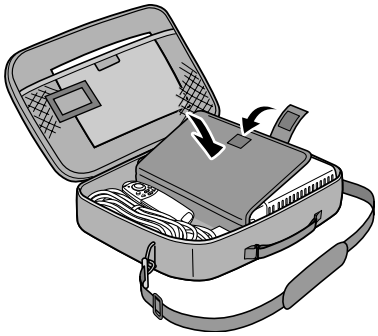
キャリングケース（1）

キャリングケースの使い方

1. 本機を入れ（向きにご注意ください）、



2. マジックテープでとめる。

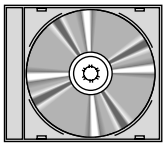


付属品等は収納ポケットに入れてください。

■ 書類

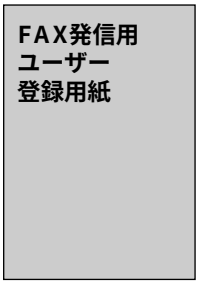
取扱説明書（簡易版）（1）

取扱説明書（CD-ROM 版）（1）

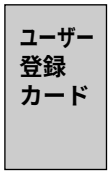


保証書（1）

FAX 発信用ユーザー登録用紙（1）



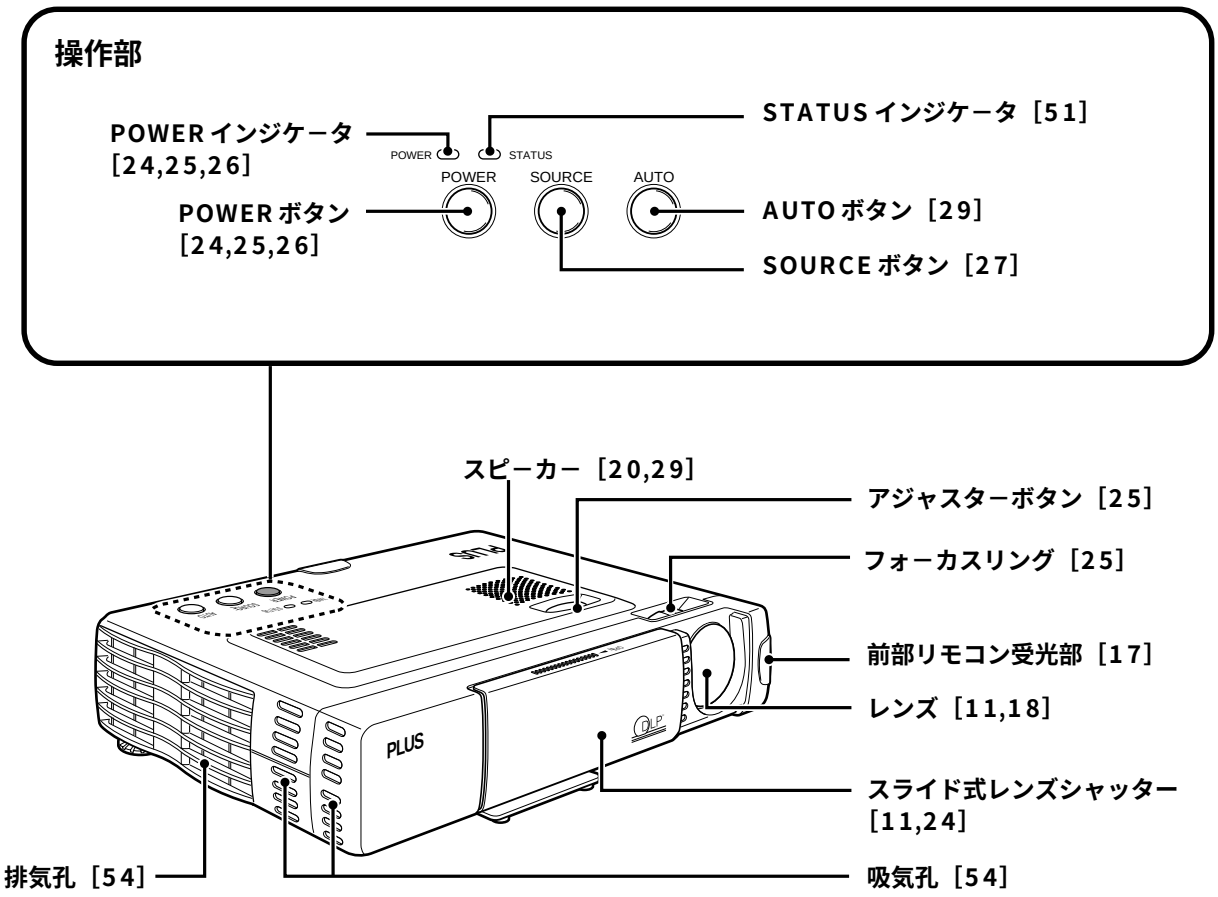
ユーザー登録カード（1）

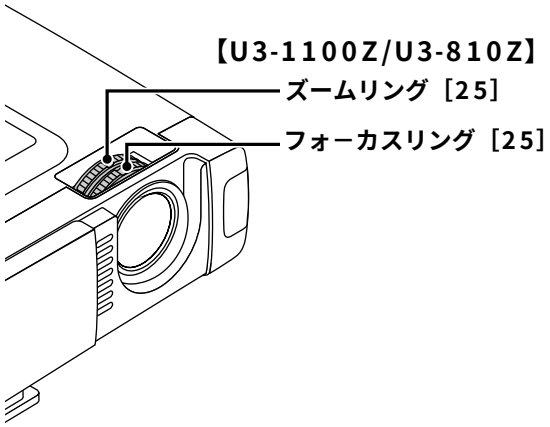


各部のなまえ

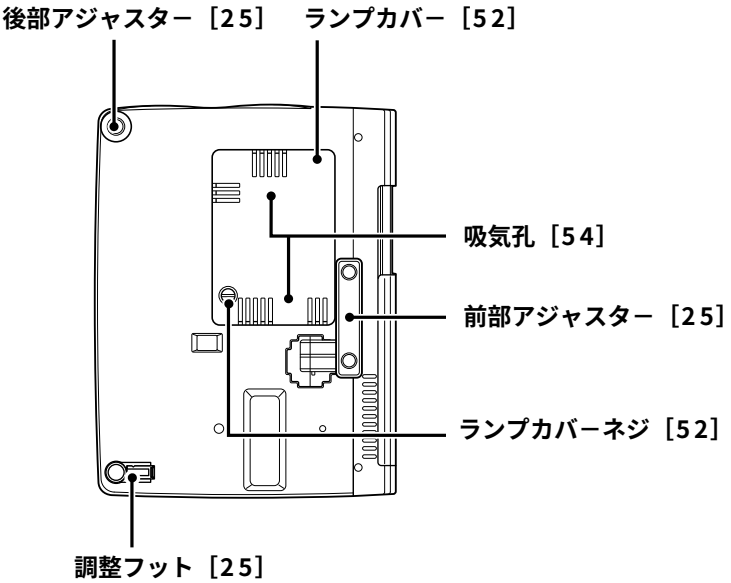
[ ] 内の数字は参照先のページです。

■ 正面図

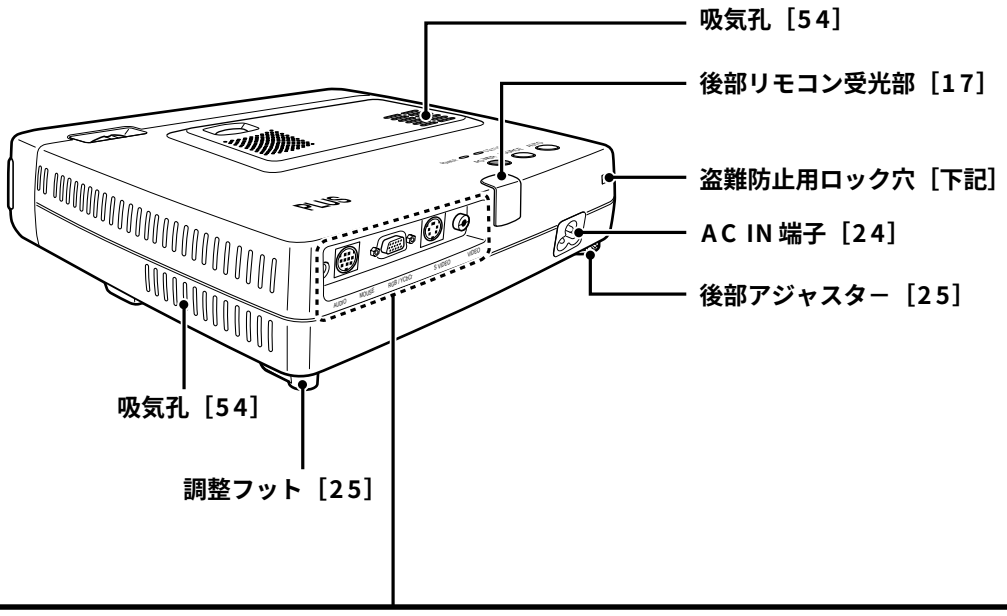




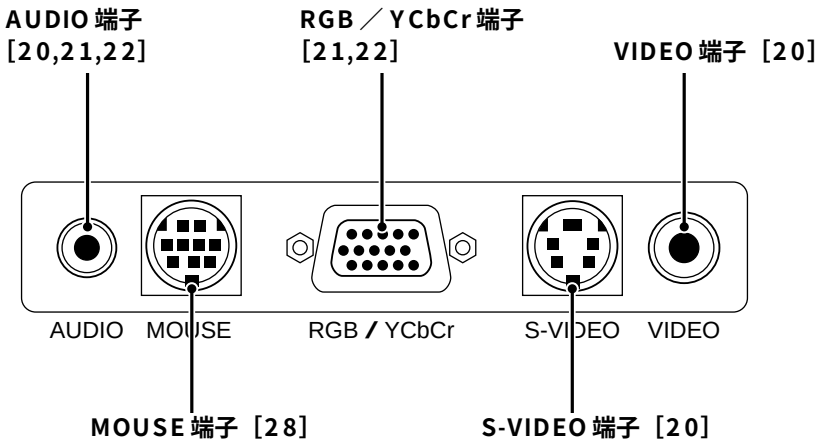
■ 底面図



■ 後面図



端子部



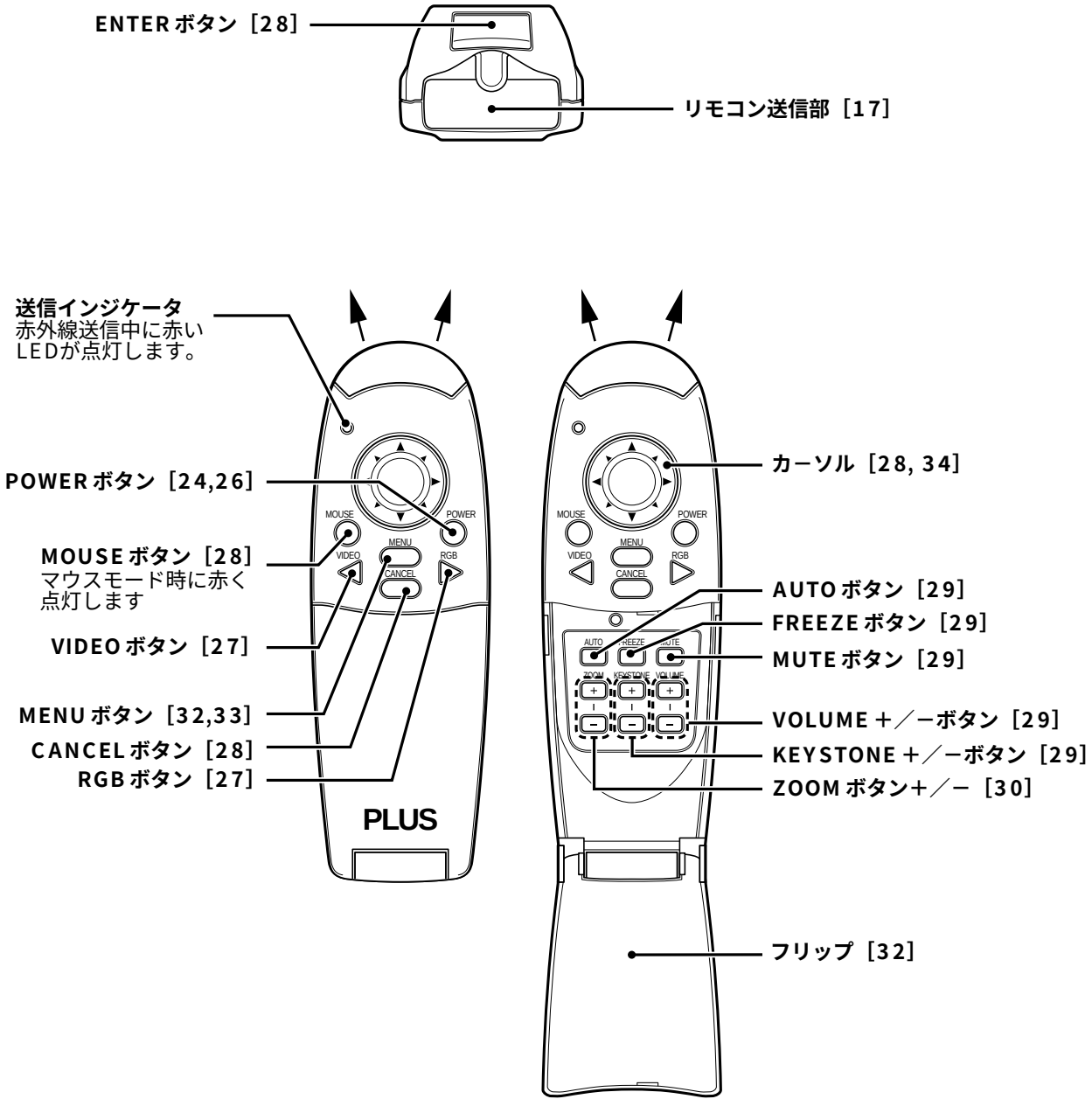
盗難防止用ロックについて

盗難防止用ロック穴は、Kensington社製のマイクロセーバーセキュリティシステムに対応しています。日本国内総販売代理店の連絡先は、以下のとおりです。

日本ポラデジタル株式会社
〒104-0032　東京都中央区八丁堀1-5-2 はごろもビル5F
Tel : 03-3537-1070　Fax : 03-3537-1071

（次ページへ続く）

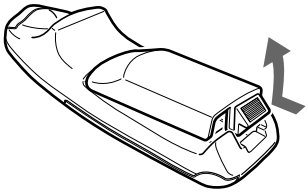
■ ワイヤレスリモコン


ENTER ボタン［28］
リモコン送信部［17］
送信インジケータ
赤外線送信中に赤い
LEDが点灯します。
POWER ボタン［24,26］
MOUSE ボタン［28］
マウスモード時に赤く
点灯します
VIDEO ボタン［27］
MENU ボタン［32,33］
CANCEL ボタン［28］
RGB ボタン［27］
MOUSE
POWER
VIDEO
MENU
RGB
CANCEL
PLUS
カーソル［28, 34］
AUTO ボタン［29］
FREEZE ボタン［29］
MUTE ボタン［29］
VOLUME ＋／－ボタン［29］
KEYSTONE ＋／－ボタン［29］
ZOOM ボタン＋／－［30］
フリップ［32］
AUTO
FREEZE
MUTE
ZOOM
KEYSTONE
VOLUME

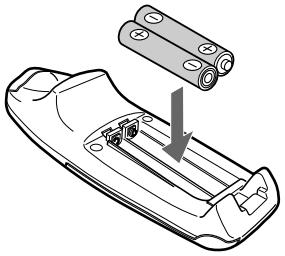
リモコンを準備する

付属の単 4 乾電池 2 本をリモコンに入れます。

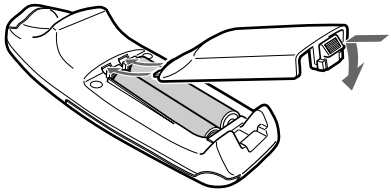
1 **リモコン裏面の電池ケースのふたをはずす。**



2 **ケース内部の表示にしたがって、＋と－を間違えないように乾電池を入れる。**



3 **ふたを元に戻す。**



リモコン使用上のお願い

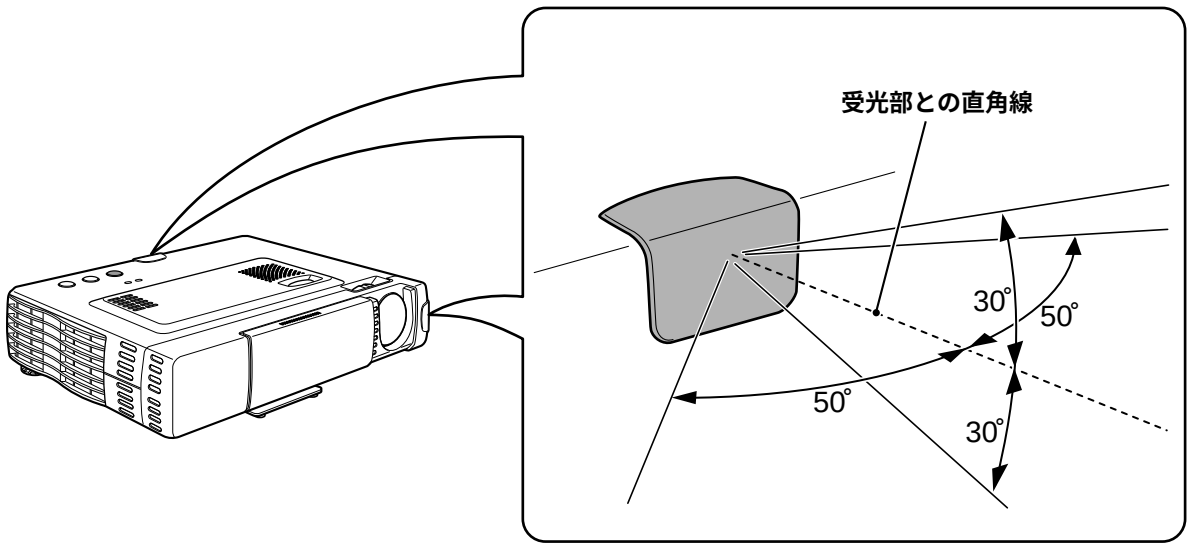
本体のリモコン受信部やリモコンの発信部に明るい光や蛍光燈が当たっていたり、途中に障害物があって信号がさえぎられていると動作しません。

リモコンの取り扱いについて

- リモコンを落とさないでください。
- リモコンに水や液体をかけないでください。万一、濡れた場合は、すぐにふき取ってください。
- できるだけ熱や湿気のないところで使用してください。
- 長期間リモコンを使用しないときは、乾電池を取り出してください。
- リモコンしかできない操作がありますので、取り扱いには注意してください。

■ リモコンの受光範囲

リモコンの受光部は本体の前後にあります。受光範囲は、受光部に向かう直角線に対して上下 30°内、左右 50°内です。受光可能距離は約 4m です。

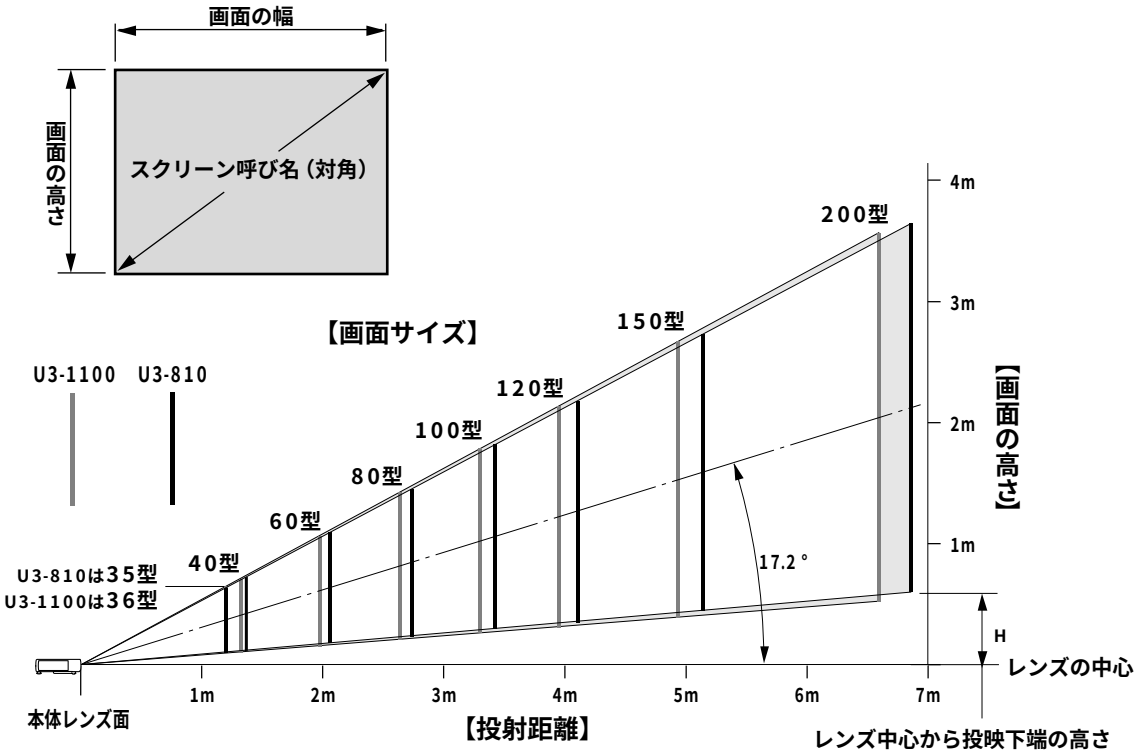


設置する

■ 設置の目安（通常の設置）

この場所に設置するとどのくらいの画面サイズになるか、またどのくらいのスクリーンを用意すればいいのかを知りたいときの参考にしてください。
フォーカス（焦点）の合う投射距離はレンズ前面から U3-810SF：1.2m ～ 6.8m、U3-1100SF：1.2m ～ 6.6m、U3-810Z：1.2m ～ 9.8m、U3-1100Z：1.2m ～ 9.4m です。この範囲で設置してください。

U3-810SF、U3-1100SF の投射距離と画面サイズ



スクリーン呼び名（インチ）	画面サイズ 横×縦（cm）	U3-810SF		U3-1100SF	
		投射距離（m）	高さ H（cm）	投射距離（m）	高さ H（cm）
35 型	71.1 × 53.3	1.2	10.5	—	—
36 型	73.2 × 54.9	1.2	10.8	1.2	9.8
40 型	81.3 × 61.0	1.4	12.0	1.3	10.4
60 型	121.9 × 91.4	2.1	18.0	2.0	15.7
80 型	162.6 × 121.9	2.7	24.0	2.6	20.9
100 型	203.2 × 152.4	3.4	30.0	3.3	26.1
120 型	243.8 × 182.9	4.1	36.0	4.0	31.3
150 型	304.8 × 228.6	5.1	44.9	5.0	39.2
200 型	406.4 × 304.8	6.8	59.9	6.6	52.2

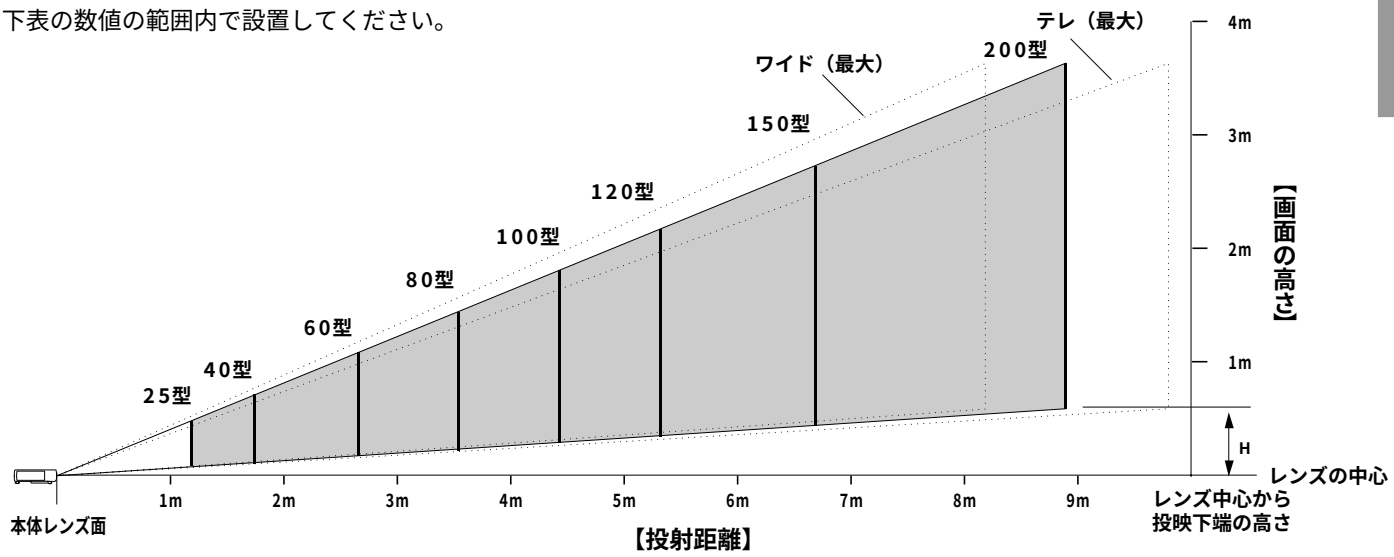
お知らせ

- 設計値の為、±5%の誤差があります。
- 水平投影位置は、レンズを中心に左右均等になります。
- 高温または低温になる場所には設置しないでください。（使用温度：5℃～35℃）
- 投射画面位置を上げたい場合は、安定した丈夫な台にのせて設置してください。
- リモコン受光部に明るい光が入ると、リモコンが使用できなくなる場合がありますので、明るい照明の近くはさけてください。
- スクリーンには、日光や照明などの光が入らないようにしてください。外光が入らないほど、ハイコントラストで美しい映像が見られます。

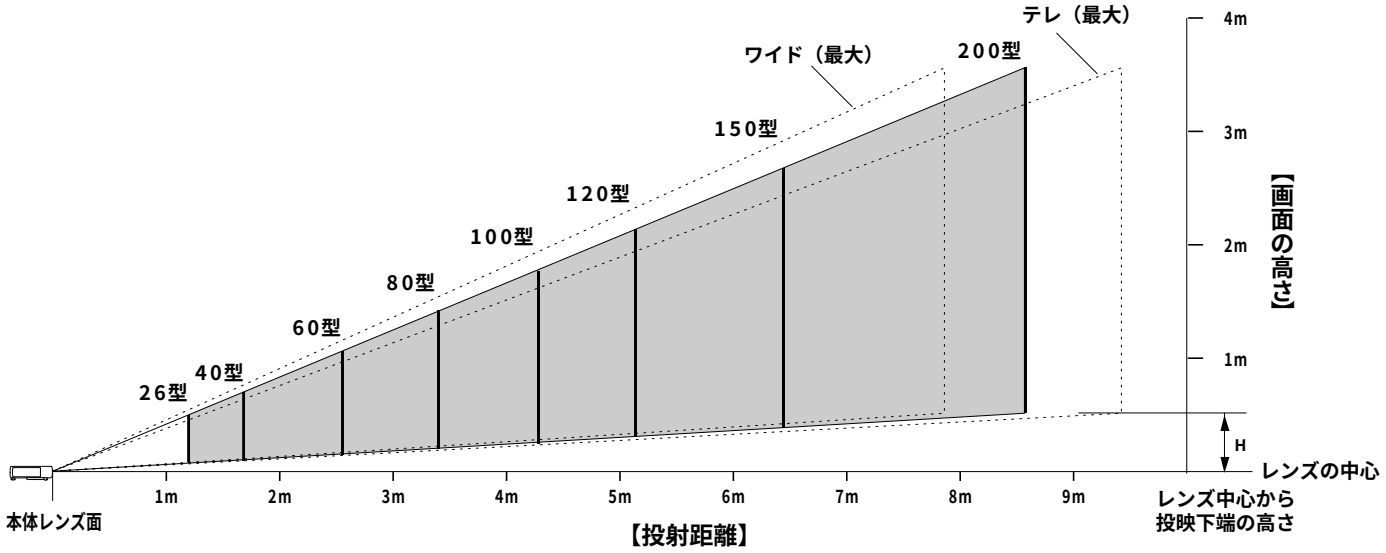
U3-810Z、U3-1100Z の投射距離と画面サイズ

この図はズームレンズがテレ（画面が小さくなる）とワイド（画面が大きくなる）の時の画面サイズと投射距離を表しています。

下表の数値の範囲内で設置してください。



U3-810Z の投射距離と画面高さ



U3-1100Z の投射距離と画面高さ

スクリーン呼び名（インチ）	画面サイズ 横×縦（cm）	U3-810Z		U3-1100Z	
		投射距離（m） ワイド ～ テレ	高さ H（cm）	投射距離（m） ワイド ～ テレ	高さ H（cm）
25型	50.8 × 38.1	1.20	7.6	—	—
26型	52.8 × 39.6	1.22	7.6	1.2	6.8
40型	81.3 × 61.0	1.6 ～ 1.9	12.0	1.5 ～ 1.9	10.4
60型	121.9 × 91.4	2.4 ～ 2.9	18.0	2.3 ～ 2.8	15.5
80型	162.6 × 121.9	3.2 ～ 3.9	23.9	3.1 ～ 3.7	20.7
100型	203.2 × 152.4	4.1 ～ 4.9	29.9	3.9 ～ 4.7	25.9
120型	243.8 × 182.9	4.9 ～ 5.9	35.9	4.7 ～ 5.6	31.1
150型	304.8 × 228.6	6.1 ～ 7.4	44.9	5.9 ～ 7.1	38.9
200型	406.4 × 304.8	8.2 ～ 9.8	59.9	7.9 ～ 9.4	51.8

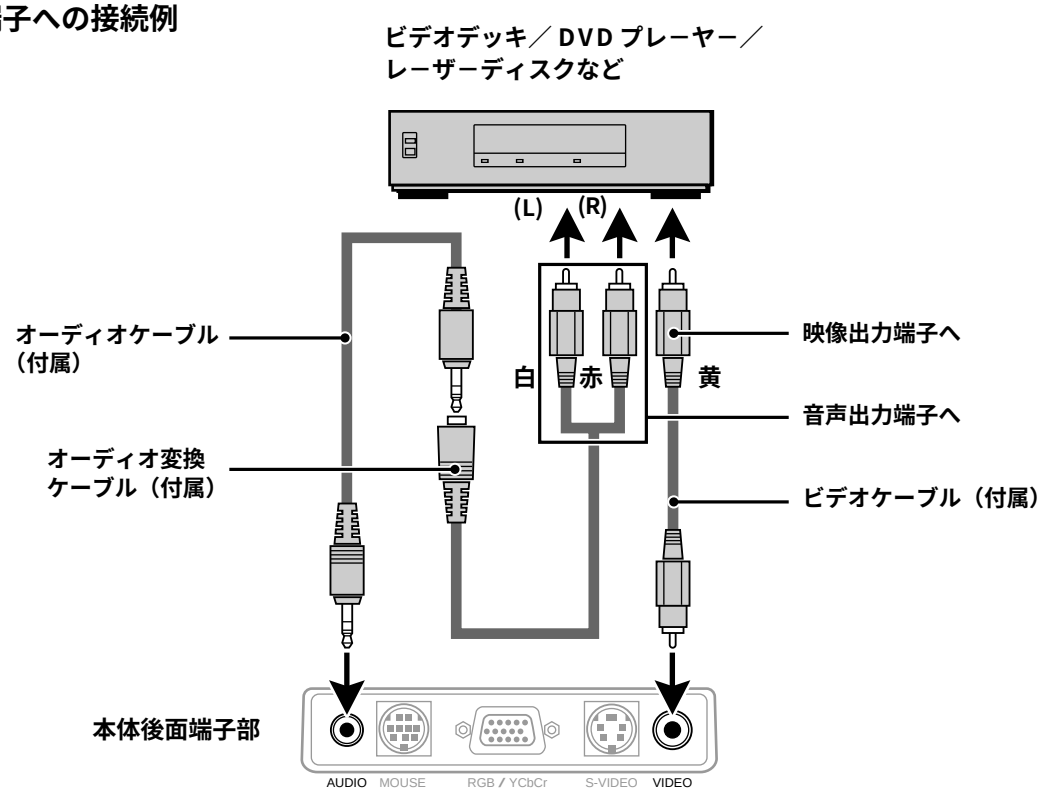
ビデオ機器を接続する

ビデオデッキ、レーザーディスクプレーヤー、DVD プレーヤーなどを接続します。

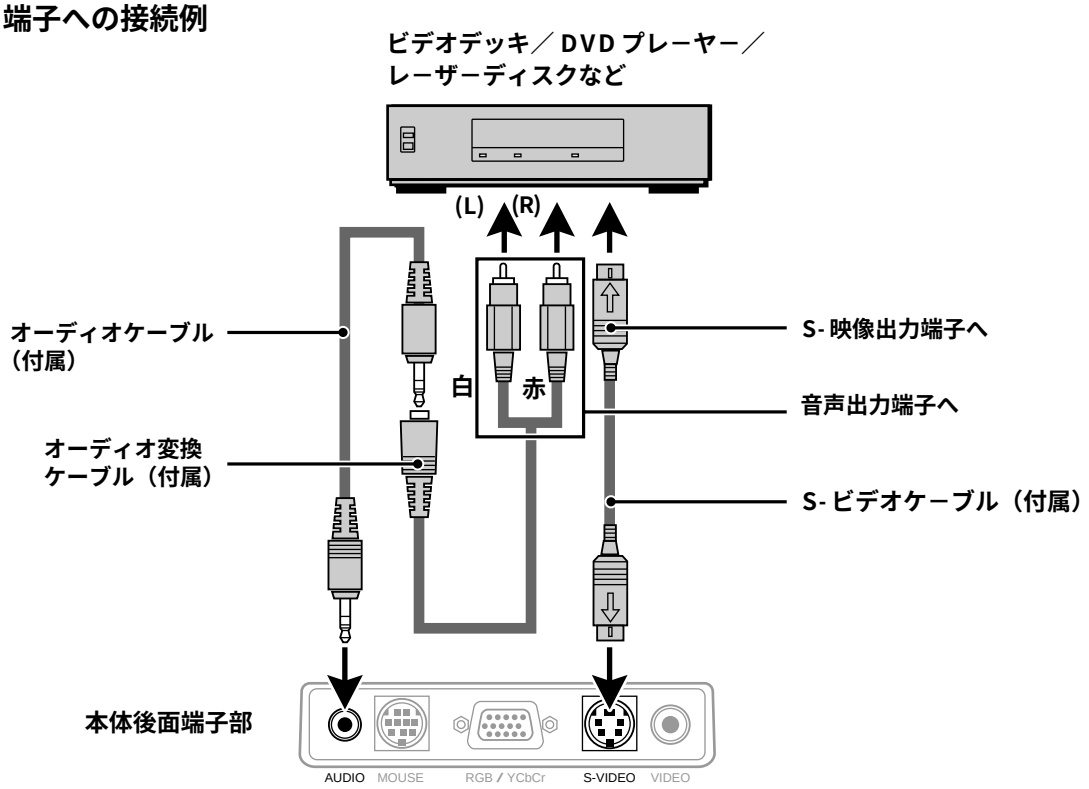
■ ビデオ端子、S-ビデオ端子と接続する

- 映像は、VIDEO端子とS-VIDEO端子の2系統がありますので、外部機器を2台同時につなぐことができます。（入力選択で切り換えることができます。）
- 音声入力は1 系統です。2台の外部機器を接続する場合は、どちらか1台の音声を本機スピーカーから出力できます。尚、メニュー上からビデオ系（ビデオ・S-ビデオ）入力もしくはＲＧＢ（コンポーネントビデオ）入力各々について音声のオン・オフを選択できます。（☞ 44ページ）

VIDEO 端子への接続例



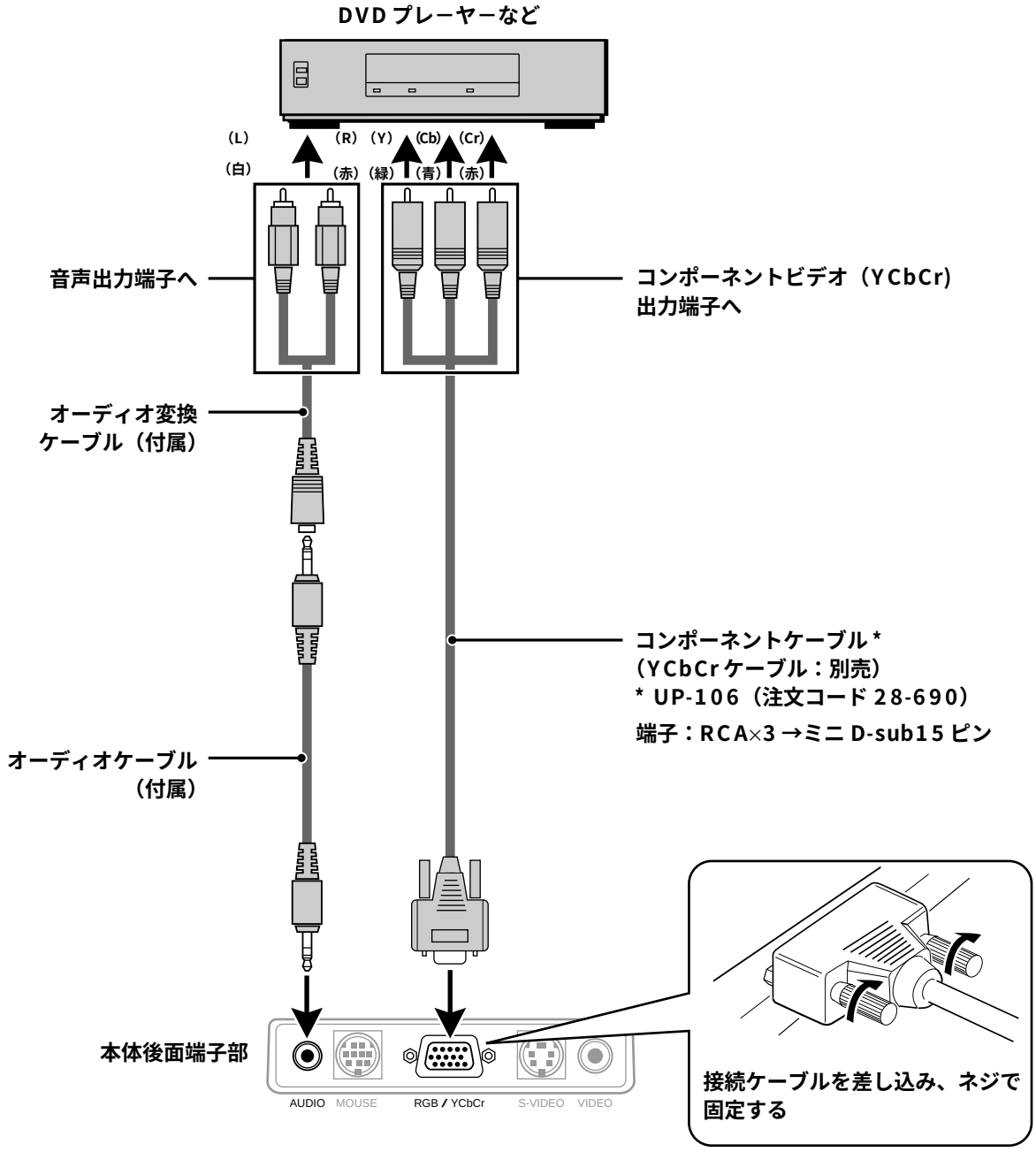
S-VIDEO 端子への接続例



■ コンポーネントビデオ（YCbCr）出力を持った機器と接続する

● メニュー上よりRGB/YCbCr端子の設定を『YCbCr』に設定（☞ 42ページ）してお使いいただく事により、コンポーネントビデオ信号（YCbCr）出力を持ったビデオ機器と本機のRGB/YCbCr端子をつなぐことができます。

RGB/YCbCr 端子への接続例

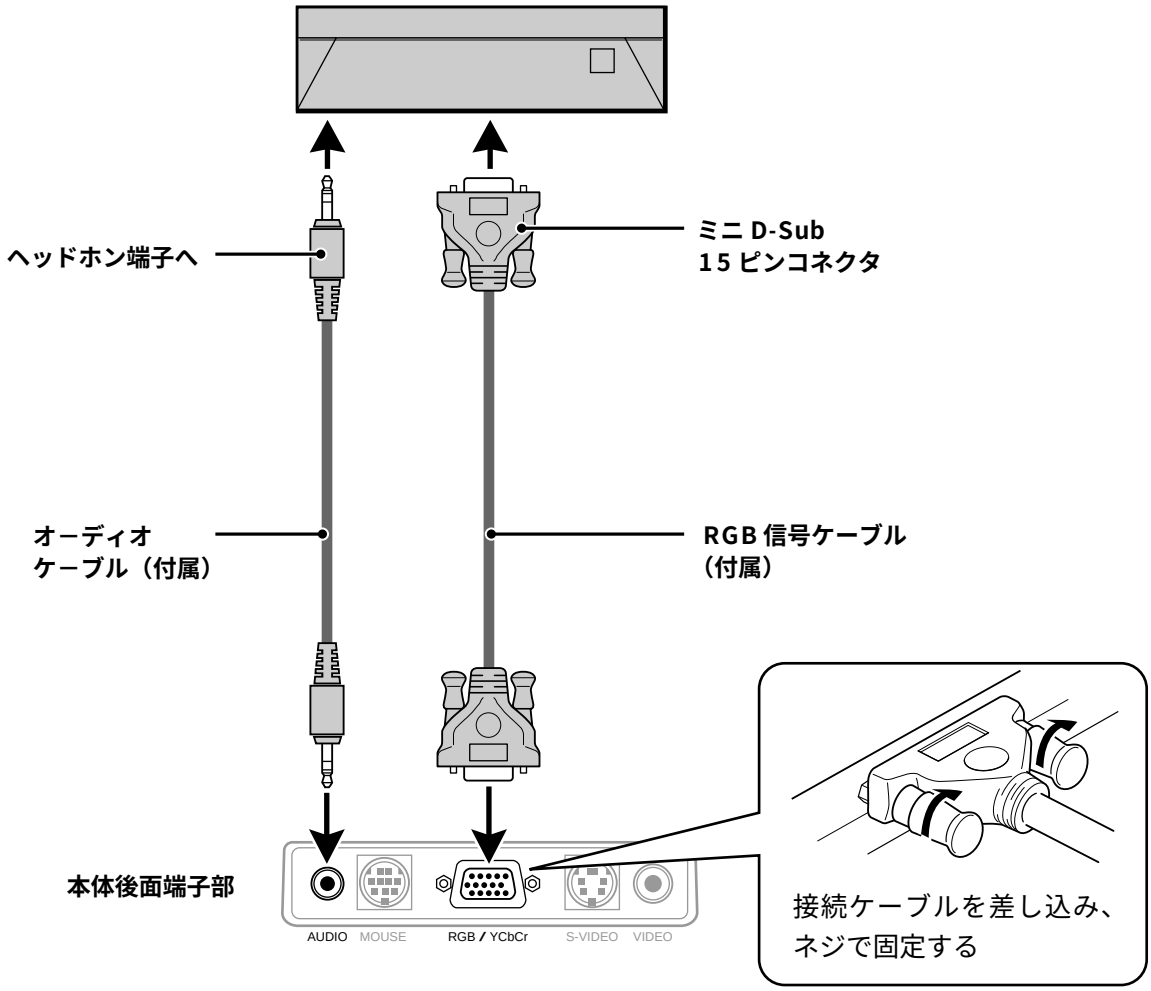


IBM PC／AT、Macintoshを接続する

メニュー上よりRGB/YCbCr端子の設定を『RGB』に設定（☞ 42 ページ）してお使いいただくことにより、パソコンのアナログ RGB 出力コネクタと本機の RGB/YCbCr端子を接続し、本機をディスプレイとして多用途にお使いいただけます。

- Macintoshを接続する場合、U3-1100SF／U3-1100Zに適したモードはXGAモードの1024×768ドット設定です。
  U3-810SF／U3-810Zに適したモードはS-VGAの800×600ドット設定です。
  Macintosh側がこのモードに対応している場合、この設定を行うことを推奨します。
- Macintosh PowerBookを使用する場合、「ミラーリング」をOFFにしないと外部出力を上記のドットに設定できないことがあります。
- 各種パソコンの設定方法はパソコンの取扱説明書をお読みになるか、メーカーへお問い合わせください。

○DOS/V 対応機（IBM PC/AT100% 互換機）
○モニタ出力がミニ D-sub15 ピン Macintosh



■ ノートパソコンの外部出力信号を出力するには

ノートパソコンを接続して投射する際、ケーブル接続とノートパソコン起動の手順や、ノートパソコン起動後の操作など、必要な知識があります。お手持ちのノートパソコンの取扱説明書を確認しながら、以下の手順を行ってみてください。

1 ノートパソコンから本機に信号がでているか確認する。

ノートパソコンの液晶画面に表示されていても外部出力信号が出力されているとは限りません。
本機の情報メニューの表示（☞ 39ページ）で確認してください。
0KHz表示されている時は、パソコンから外部出力信号が出ていません。

2 ノートパソコンから信号がでていないときは、以下の操作をためしてください。

IBM PC/AT、DOS/V機の場合、Fnキー ＋ F1 ～ F12 キーのいずれか（下記表参照）を押します。

メーカー名	機種	キー
akia	全機種	Fn + F2
COMPAQ	ARMADAシリーズ	Fn + F4
	PRESARIOシリーズ	Fn + F3
DELL	全機種	Fn + F8
FUJITSU	全機種	Fn + F10
GATEWAY	全機種	Fn + F3
IBM	全機種	Fn + F7
NEC	全機種	Fn + F3
Panasonic	全機種	Fn + F3
SHARP	全機種	Fn + F5
SONY	全機種	Fn + F7
SOTEC	全機種	Fn + F3
TOSHIBA	全機種	Fn + F5

注）● 表の内容は2001年6月現在のものです。
● お手持ちのノートパソコンの取扱説明書を併せてご確認ください。

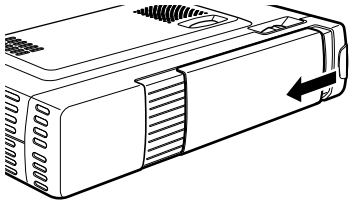
お知らせ

ノート型パソコンの液晶画面と本機を同時に表示させた場合、液晶画面は正常に表示されていても投射された映像が正常でない場合があります。その場合はノートパソコンの同時表示をやめ、外部出力のみのモードにしてお試し（前記の**2**のような操作をしたり、液晶パネルを閉じたりすると、外部出力のみとなる場合があります。）ください。

プロジェクタを使用する

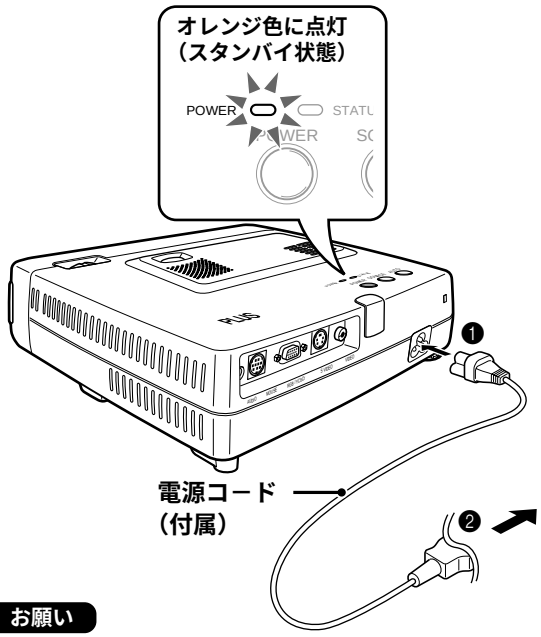
ご使用の前に

スライド式レンズシャッターを開けてください。



1 電源コードを接続する

POWERインジケータがオレンジ色に点灯し、排気孔のファンが低速回転してスタンバイ状態になります。

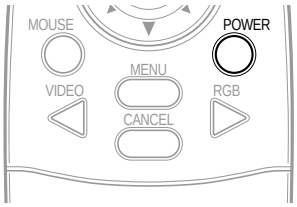


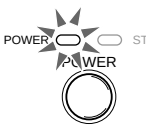
お願い

●電源プラグを電源コンセントから抜く場合、容易に手が届くように本機を電源コンセントの近くに設置してください。

2 リモコンのPOWER ボタン、または本体のPOWERボタンを押して、電源を入れる

POWERインジケーターが緑に変わり、1分間点滅したあとに点灯します。





緑に点滅（1 分間）
↓
緑に点灯

お知らせ

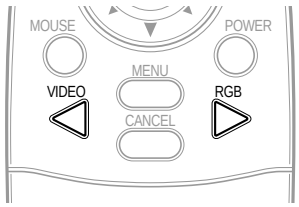
●緑に点滅している間は、POWER ボタンを押してもOFFにはなりません。

3 使用する外部機器の電源を入れる

パソコン、ビデオ機器などの電源を入れます。

ビデオ機器は映像調整のため、再生状態にしてください。

4 リモコンのVIDEO（ビデオ）、RGBボタン、または本体のSOURCEボタンのいずれかを押して、入力を選びます（☞ 27ページ）。



お知らせ

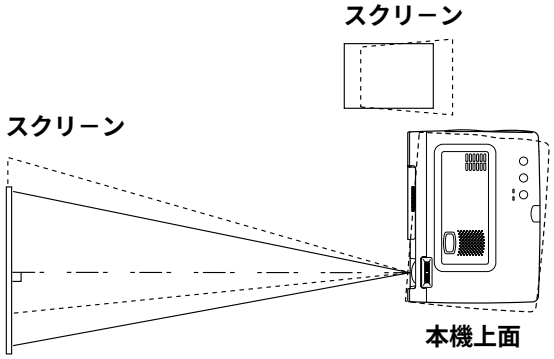
●選んだ入力の端子が接続されていないとき、接続した機器の電源が切れているとき、信号が本機に出力されていないときは、ブルーバックまたはブラックバック（バックグラウンドの設定によって変わります。☞ 45ページ）が投影されます。

●ノートパソコンを接続している場合、本機に信号が出力されていない場合があります。このときは、「ノートパソコンの外部出力信号を出力するには」（☞ 23ページ）を参照してください。

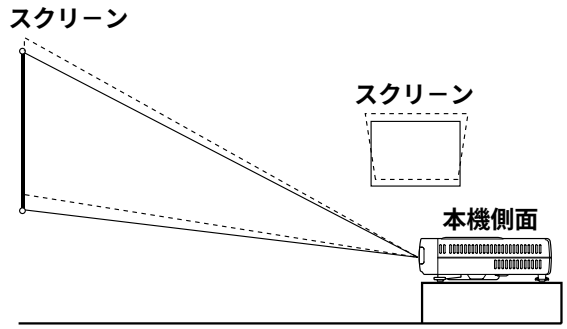
5 プロジェクタの向きと高さを調整する

● スクリーンが横に歪んでいるときは

プロジェクタの正面がスクリーンと平行になるようにプロジェクターの向きを調整します。



● **スクリーンが縦に歪んでいるときは**
画面の高さがスクリーン位置に合うように台の高さを調整したり、次のようにアジャスターを調整します。



アジャスターの調整
アジャスターは本体の前部中央に１つ、後部右に１つあり、調整フットが後部左にあります。

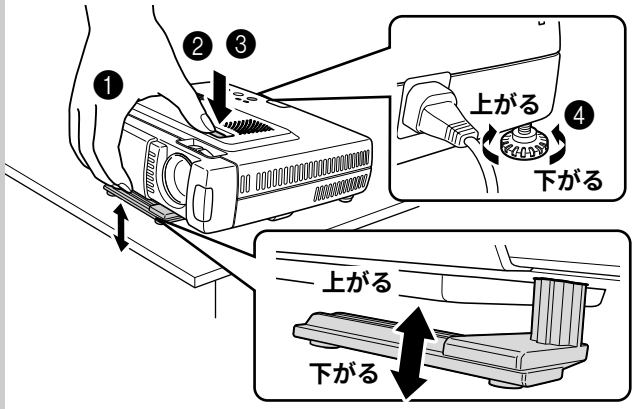
画面の高さを上げる場合

❶ **調整したいおおよその角度に本体前部を片手で持ち上げる。**

❷ **前部アジャスターボタンを押す。**
アジャスターの脚がゆるみ、ストンと下に伸びます。

❸ **ボタンをはなす。**
アジャスターの脚が伸びたまま固定されます。

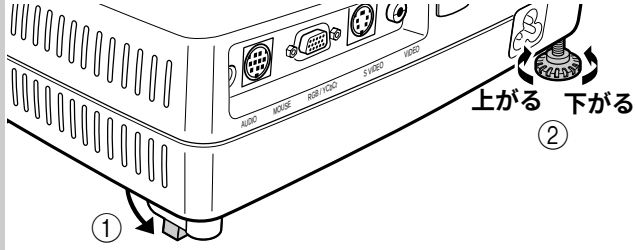
❹ **後部アジャスターの接面部を左右どちらかに回して水平の微調整をする。**



画面の高さを下げる場合
準備：前部のアジャスターを下げてください。

① **調整フットを起こす。**下がりすぎる場合は前部アジャスターを少し上げてください。

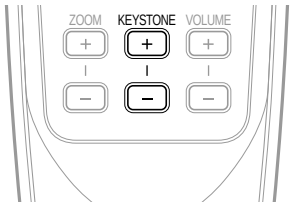
② **後部アジャスターの接面部を左右どちらかに回して水平の微調整をする。**



6 投射画像の台形の歪みがアジャスターで補正しきれないときは、リモコンのKEYSTONE +/－ボタンを押して、微調整する

（☞ 29ページ）

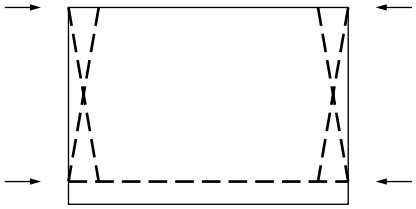
投射画像の歪みとKEYSTONEによる調整



お知らせ

補正量は最大14°です。（光学補正量を含みます。）

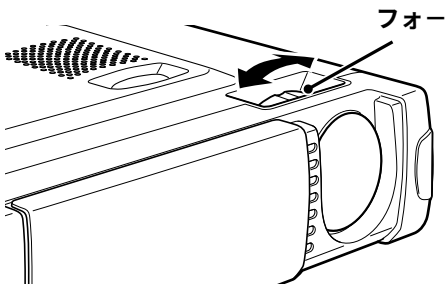
下図のように、投射映像の上下部が補正されます。
メニューが表示されている場合、メニュー画面自体は台形補正されません。



7 画面サイズとピントを調整する

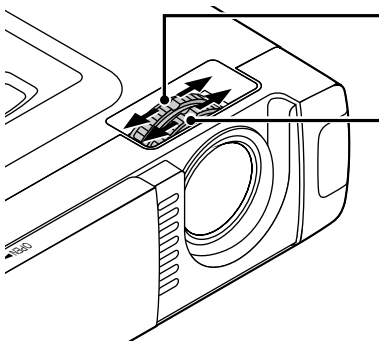
【U3-810SF／U3-1100SF】

設置の目安（☞ 18ページ）**で画面サイズを合わせ、次にフォーカスリングでピントを調整する**



【U3-810Z／U3-1100Z】

設置の目安（☞ 18ページ）**で画面サイズを合わせます。画面サイズの微調整はズームリングで調整します。**
次にフォーカスリングでピントを調整する



（次ページへ続く）

8 本機の設置方法、選んだ入力に合わせた設定をする

- **プロジェクタの設置方法に合った『投射方法』を選びます。（☞ 46ページ）**
  画像が左右、上下逆になっているときは、『投射方法』を設定し直します。
- **ビデオ、S-ビデオ入力のときは、必要に応じてカラー方式を選びます。（☞ 41ページ）**
  通常は工場出荷時の設定を変更する必要はありません。また、コンポーネントビデオ（YCbCr）入力の時はRGB端子設定を行います。（☞ 42ページ）
- **RGB入力のときは、必要に応じて接続したパソコンの映像調整をします。**
  本機は自動的に入力信号を識別して最適な解像度を選びます。

  しかし、ちらつきや、ノイズ、色ずれなどがあるときは、クロック周波数や位相を（☞ 37、38ページ）、画面位置がずれているときは垂直、水平方向の画面位置を（☞ 38ページ）、それぞれマニュアルで調整してください。
  入力信号解像度をオリジナルサイズで投射することもできます（☞ 42ページ）。（通常は解像度を自動判別し、拡大／縮小表示します。）

9 画像の調整や、映像内容にあった調整をする

入力ごとに以下のような調整ができます。

- 画像調整（☞ 40ページ）
- 映像内容に合わせた設定（☞ 42ページ）

10 プロジェクタの使用を開始する

使用中、以下の機能が使えます。

- ボリュームを調節する（☞ 29ページ）
- 映像と音声を一時的に消す（☞ 29ページ）
- 動画を静止する（☞ 29ページ）
- 画面を拡大する（☞ 30ページ）

お知らせ

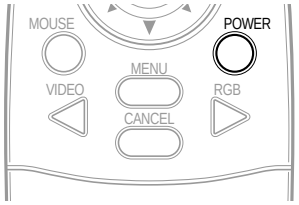
省電力機能をONに設定すると（☞ 46ページ）、5分間信号の入力がないと自動的にスタンバイ状態になります。
パソコン接続時に画面に何も映らなくなったときはパソコンのスクリーンセーバーか、パソコンのパワーマネジメントがはたらいている可能性があります。

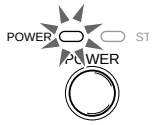
■ プロジェクタを使い終わったら

1 リモコンのPOWERボタン、または本体のPOWERボタンを長めに押す

電源が切れ、POWERインジケータがオレンジ色に変わって1分間点滅したあと、スタンバイ状態になります。（冷却のため、しばらくの間は排気ファンが高速回転します）

インジケータが点滅している間は電源コードを抜かないでください。





オレンジ色に点滅
（1 分間）
↓
オレンジ色に点灯

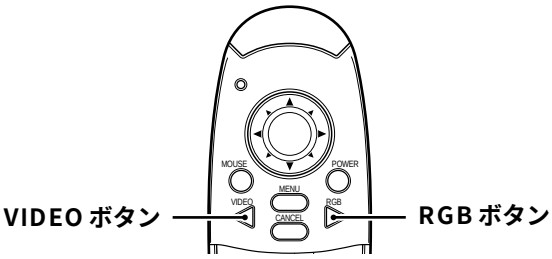
お知らせ

- 点滅が終了するまで、リモコンのＰＯＷＥＲ、本体のPOWERボタンを押してもオンになりません。
- スタンバイ状態にしたあと、再度オンにするときは1分以上間をあけてください。（1分以上待たないと、電源が入りません。）
- スタンバイ状態でも排気ファンは回転します。

2 電源コードを抜く

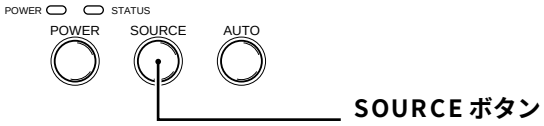
POWERインジケータが消えます。

リモコンの使い方（入力を選ぶ）



■ 本体で操作するときは

入力の選択はリモコン操作だけでなく、本体の「SOURCE」ボタンでも操作できます。



1 VIDEOボタンを押す

本機の入力端子に接続されているビデオ信号（ビデオ・Sビデオ）を自動的に検出し、映し出します。映像信号が検出されない場合、「NO SIGNAL」表示となります。

2 RGBボタンを押す

本機の入力端子に接続されているアナログRGB信号を自動的に検出し、映し出します。

（RGB入力端子の設定（P．42）がYCbCrに設定されている場合は、コンポーネント映像を検出します）映像信号が検出されない場合、「NO SIGNAL」表示となります。

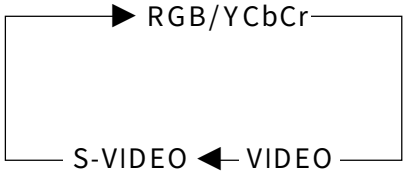
お知らせ

●「オートソース」（P.45）がONに設定されている場合は、VIDEOボタン、RGBボタンを押した場合でも、本機に入力されている映像信号全てを検出します。

3 SOURCEボタンを押す

本機の入力端子に接続されている映像信号（RGBまたはコンポーネントビデオ、ビデオ・Sビデオ）をボタンを押すごとに検出し、映し出します。映像信号が検出されない場合、「NO SIGNAL」表示となります。

信号の検出は下図の順で繰り返されます。



お知らせ

●「オートソース」（P.45）がONに設定されている場合は、本機に入力されている映像信号全てを検出します。

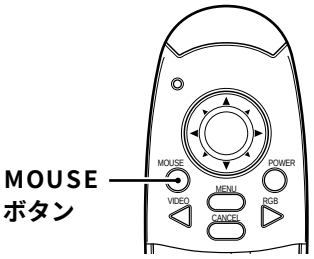
使用する

リモコンをパソコンのマウスとして使う

本機の MOUSE 端子とパソコンを接続すると、本機のリモコンを以下のようにパソコンのマウスとして使用することができます。（ワイヤレスマウス機能）

リモコンのマウス機能

- リモコンの「MOUSE」ボタンを押すとボタンが赤色に点灯し、カーソルがマウスとしてはたらきます。
  もう一度「MOUSE」ボタンを押して消灯させると、本機のカーソルボタンの働きに戻ります。
- Windowsの場合、リモコンのCANCELボタンがマウスの右クリックボタンとして、リモコンのENTERボタンがマウスの左クリックボタンとしてはたらきます。
- Macintoshの場合、リモコンのCANCELボタンとENTERボタンは、マウスのクリックボタンとして同じはたらきをします。



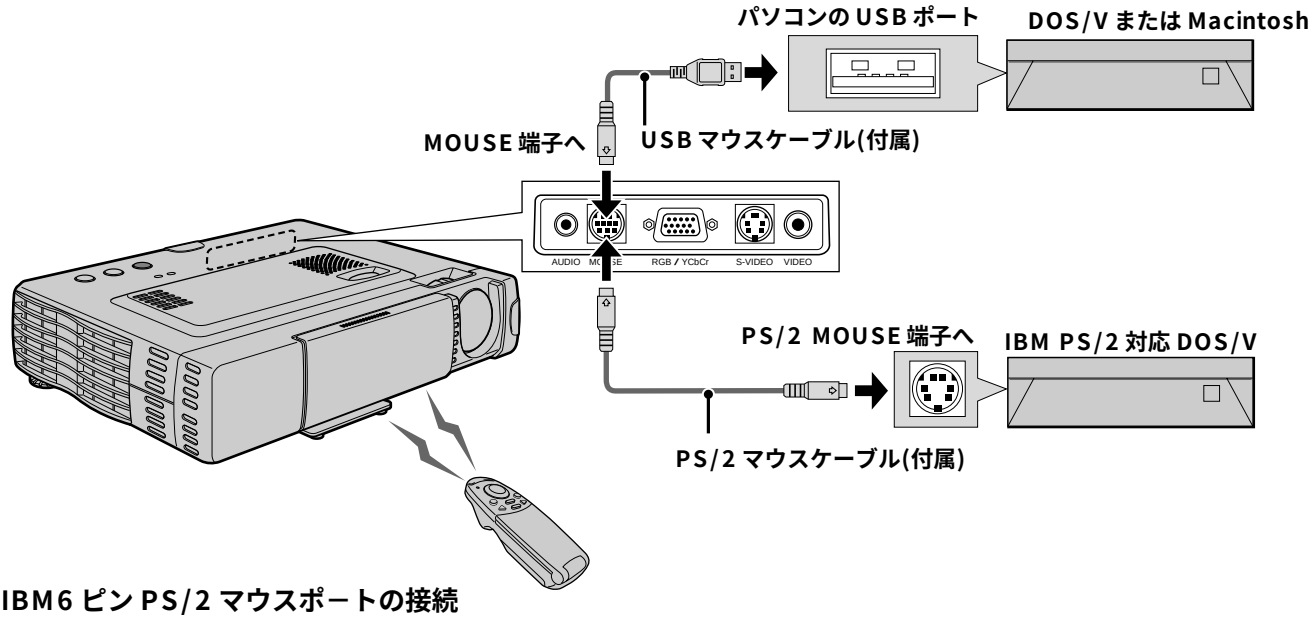
パソコンと本機の MOUSE 端子を接続する

パソコンと接続する前に

- 接続する前に、パソコンの電源を切ってください。本機の電源が入っている場合は、本機の電源も切ってください。
- 接続が終わったら、本機の電源を入れ、パソコンを起動してください。

USB ポートとの接続

図のように、付属のUSBマウスケーブルで直接パソコンのUSBポート（ユニバーサル・シリアルバス）に接続します。



IBM6 ピン PS/2 マウスポートの接続

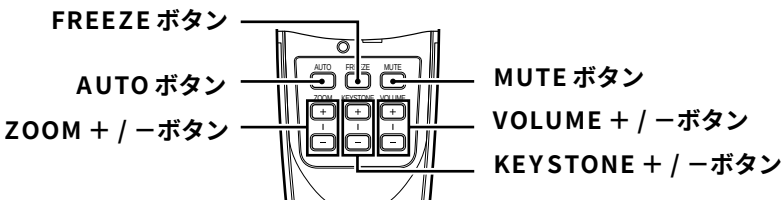
図のように、付属のPS/2マウスケーブルをパソコンに接続します。

お知らせ

- ご使用のパソコンによっては、パソコンの電源を入れる前にMOUSE端子に接続しないとマウスが認識されないことがあります。
- ノート型・ラップトップ型パソコンの場合、機種によってはMOUSE端子接続時に、パソコンに標準搭載されているポインティングデバイス（トラックボールなど）が使用できなくなることがあります。この場合、MOUSE端子接続を取り外しても、パソコンを再起動するまでパソコン本体側のポインティングデバイスは使用できません。

ご使用中の便利な機能

■リモコンのフリップを開けると次の操作が可能になります。



■ 画像を自動調整する

AUTOボタンを押します

AUTO

入力画像の解像度にあわせて画像の位置・大きさを自動調整します。

お知らせ

本体のAUTOボタンも同じ働きです。

■ 動画を静止する

FREEZEボタンを押します。もう一度押すと静止が解除されます。

FREEZE

ヒント

静止画像を拡大する（☞ 30ページ）こともできます。

■ 映像と音声を一時的に消す －ミュート機能

MUTEボタンを押す

もう一度押すとミュート機能が解除されます。

MUTE

■ ボリュームを調節する

本機スピーカーから出る音声の大きさを調節します。

VOLUME＋/－ボタンを押す

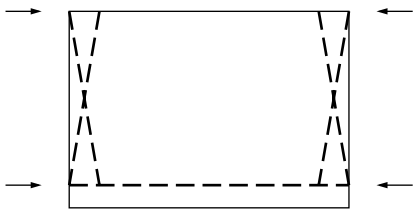
＋を押すと大きく、－を押すと小さくなります。

VOLUME
＋
－

■ キーストーンを調節する

投射画像の台形の歪みがアジャスターで補正しきれないときは、KEYSTONE ＋/－ボタンを押して、微調整する

VOLUME
＋
－



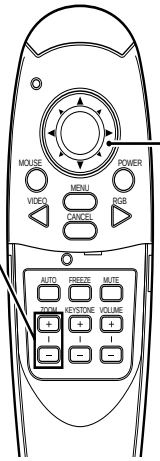
投射画像の歪みとKEYSTONEによる調整

図のように、投射映像の上下部が補正されます。
メニューが表示されている場合、メニュー画面自体は台形補正されません。

お知らせ

キーストーン調節をするときに、画像の縦横比を保持するか、しないかをメニュー上で設定できます（☞ 43ページ）。

（次ページへ続く）



ZOOM ＋ / －ボタン

ZOOM＋／－ボタンは映像を部分拡大するデジタルズームに使用するボタンです。

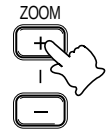
映像の大きさを調整するにはマニュアルにて本体ズームリングを使用します。
（U3-810Z／U3-1100Z のみ）

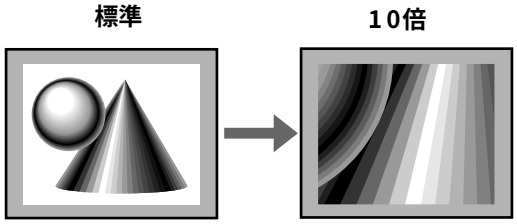
■ 画面を拡大する

10 倍まで自由に拡大できます。

ZOOMボタンの＋を押す

押し続けると10倍まで拡大します。





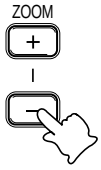
お知らせ

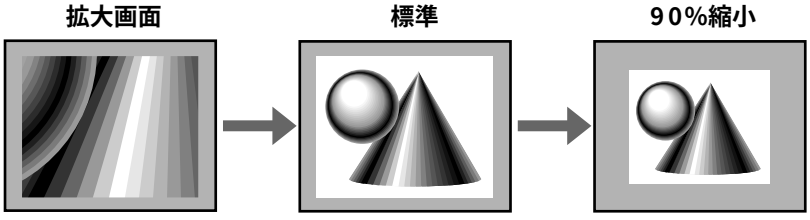
画面を拡大すると、表示は粗くなります。

■ 画面を縮小する

ZOOMボタンの－を押す

押し続けると、90%縮小サイズまで縮小します。

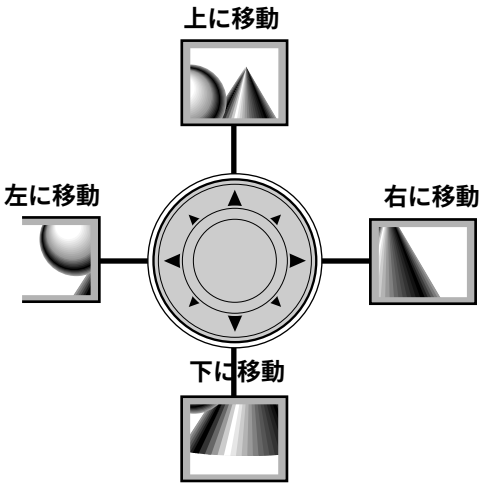




■ 拡大画面の表示されている場所を移動する

ズーム中に、移動したい方向のカーソルを押す

上下左右の4方向に移動することができます。



お知らせ

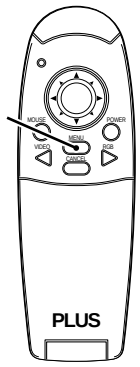
標準サイズ以下の画面は全領域が表示されていますので、画面の移動はできません。

— MEMO —

メニュー画面の構造

（ ）内の数字は、参照先のページです。

■リモコンのフリップを閉じたままMENUボタンを押すとノーマルメニューが表示されます。



ノーマルメニュー

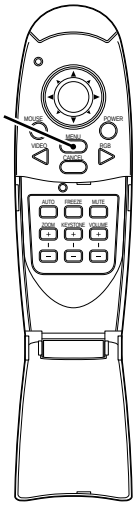
■ビデオ・S ビデオ・コンポーネントビデオ（YCbCr）入力のとき。

映像	情報		
明るさ	- 0 -		(34)
コントラスト	- 0 -		(34)
カラー	- 0 -		(34)
色相	- 0 -		(35)
シャープネス	- 0 -		(35)

映像	情報	
リセット		(39)
ランプ使用時間リセット		(39)

ランプ使用時間 - 34- ステータス -0.03 12 -

■リモコンのフリップを開いてMENUボタンを押すとアドバンストメニューが表示されます。



アドバンストメニュー

■ビデオ・S ビデオ・コンポーネントビデオ（YCbCr）入力のとき。

映像	カラー	画面	設定	メニュー	情報	
ガンマ		ノーマル	ナチュラル	リアル	カスタム	(40) →
色温度		低	中	標準	高	(40) →
シネマ		OFF		ON		(41)
		カラー方式				(41) → A
入力切替		RGB		YCbCr		(42)

映像	カラー	画面	設定	メニュー	情報	
アスペクト		リアル	自動	比率維持	4:3▶16:9	(42)
フィルタ		- 0 -				(43)
キーストーン		ノーマル		フル		(43)

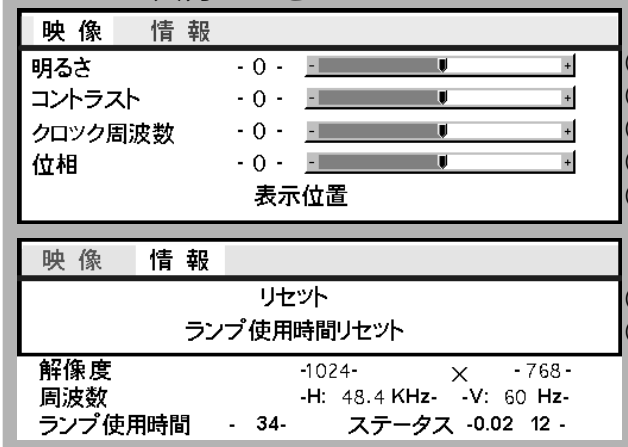
共通メニュー

映像	カラー	画面	設定	メニュー	情報	
音声ミュート		OFF		ON		(44)
バックグラウンド		ブルー		ブラック		(45)
オートゲイン		OFF		ON		(45)
オートソース		OFF		ON		(45)
		投射方法				(46) → B
省電力		OFF		ON		(46)

映像	カラー	画面	設定	メニュー	情報	
		言語				(47) → C
		メニュー位置				(47)
メニュータイプ		クリア		ブルー		(48)
表示時間		-15 Sec-				(48)
表示切替		OFF		ON		(49)

ノーマルメニュー

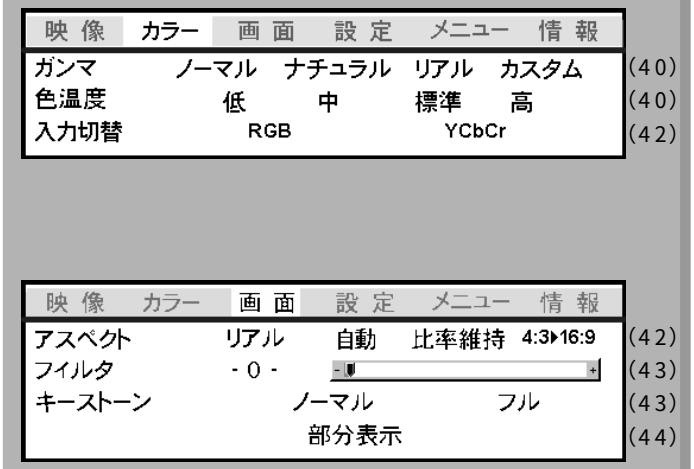
■ RGB 入力のとき

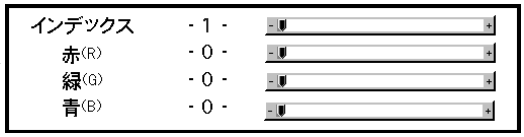


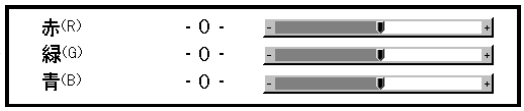
アドバンストメニュー

●アドバンストメニューは付属のリモコンのフリップを開けないと操作できません。

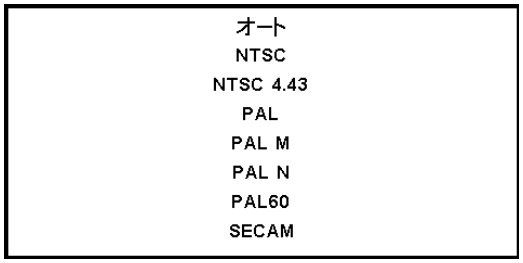
■ RGB 入力のとき



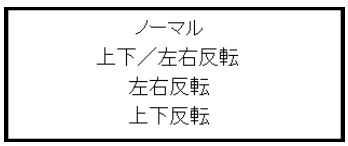




A



B



C

画像を調整する（ノーマルメニュー）

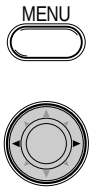
入力ごとに明るさやコントラストなどの画像調整ができます。
入力によって調整する内容が違います。以下の表を参照してください。

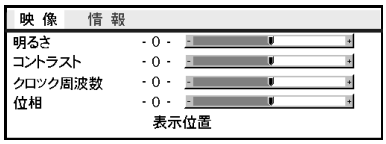
入力	ビデオ／S-ビデオ	コンポーネントビデオ	RGB
明るさ	●	●	●
コントラスト	●	●	●
カラー	●	●	―
色相	○	―	―
シャープネス	●	―	―

●が調整できる項目です。
○はNTSC, NTSC4.43のみ調整できます。
― は調整できない項目です。

1 画像を調整する入力を選ぶ（☞ 27ページ）

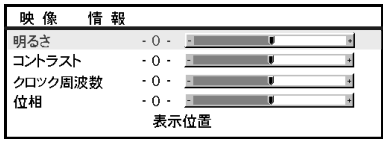
2 MENUボタンを押してメニューを表示し、カーソルの ◀／▶ を押して『映像』を選ぶ



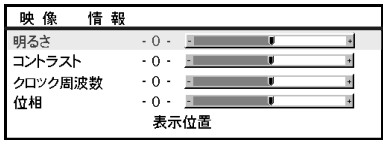


3 カーソルの▲／▼を押して『明るさ』を選ぶ

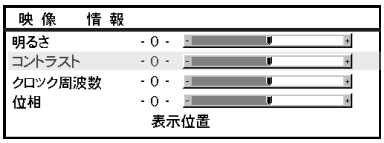
表示されるメニュー項目は、入力によって違います。



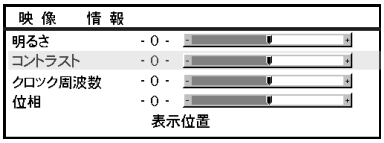
4 カーソルの◀／▶を押して、明るさを調整する



5 カーソルの▲／▼を押して『コントラスト』を選ぶ



6 カーソルの◀／▶を押して、コントラストを調整する

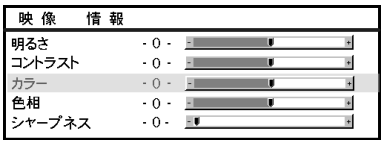


お知らせ

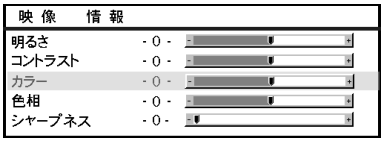
操作手順7からは、入力がビデオ、S-ビデオ、コンポーネントビデオ（YCbCr）のとき

入力信号によっては調整できない項目があります。調整できない項目は表示されません。

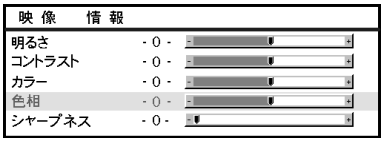
7 カーソルの▲／▼を押して『カラー』を選ぶ



8 カーソルの◀／▶を押して、色の濃さを調整する



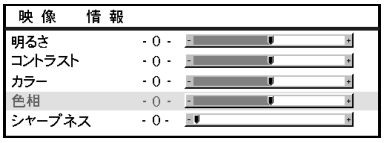
9 カーソルの▲／▼を押して『色相』を選ぶ



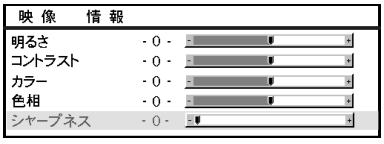
お知らせ

カラー方式がNTSC, NTSC4.43以外は、この調整はできません。

10 カーソルの◀／▶を押して、色あいを調整する



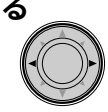
11 カーソルの▲／▼を押して『シャープネス』を選ぶ

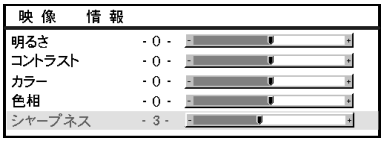


お知らせ

入力がYCbCrのときはこの調整はできません。

12 カーソルの ◀／▶ を押して、鮮明度を調整する





他のメニュー名を選択するときは

MENUボタンを押してください。カーソルが消えメニュー名選択に変わります。

メニューを消すときは

CANCELボタンを押します。

パソコン画像をマニュアル調整する

本機は自動的にパソコンからの入力信号を識別し、下の表に対応する最適な解像度を選びます。しかし、パソコンによっては以下のようなマニュアルでの調整が必要な場合があります。

- 投影画面にノイズ、ちらつき、色ずれなどがあるとき→クロック周波数や位相の調整（☞ 37、38ページ）
- 画面位置がずれているとき→画面位置の垂直、水平方向の調整（☞ 38ページ）

マニュアル調整の場合は、入力信号解像度をオリジナルサイズで投射することもできます（☞ 42ページ）。（通常は解像度を自動判別し、拡大／縮小表示します。）

対応解像度一覧表

本機で推奨されるRGB入力信号内容は、次の通りです。

パーソナルコンピュータ	表示解像度	走査周波数..水平(kHz)	走査周波数..垂直(Hz)
DOS/V, PC-98NX（IBM PC/AT互換機）	640 x 350	31.5	70.1
	640 x 350	37.9	85.1
	720 x 350	31.5	70.0
	640 x 400	31.5	70.1
	640 x 400	37.9	85.1
	720 x 400	31.5	70.0
	720 x 400	37.9	85.0
	640 x 480	31.5	60.0
	640 x 480	37.9	72.8
	640 x 480	37.5	75.0
	640 x 480	43.3	85.0
	800 x 600	35.2	56.3
	800 x 600	37.9	60.3
	800 x 600	46.9	75.0
	800 x 600	48.1	72.2
	800 x 600	53.7	85.1
	1024 x 768	48.4	60.0
	1024 x 768	56.5	70.1
	1024 x 768	58.1	72.0
	1024 x 768	60.0	75.0
	1024 x 768	68.7	85.0
	1280 x 1024	64.0	60.0
	1280 x 1024	80.0	75.0
	1280 x 1024	91.1	85.0
PC-9800	640 x 400	24.8	56.4
	640 x 400	31.5	70.1
	640 x 480	31.5	60.0
	640 x 480	37.5	75.0
	800 x 600	37.9	60.3
	800 x 600	46.9	75.0
	1120 x 750	50.0	60.1
	1024 x 768	56.5	70.1
	1024 x 768	60.0	75.0
	1280 x 1024	64.6	59.9
Apple Macintosh	640 x 480	35.0	66.7
	832 x 624	49.7	74.5
	1024 x 768	60.2	74.9
	1152 x 870	68.7	75.6
	1280 x 1024	81.1	76.1
Sun	1152 x 900	61.8	66.0
	1280 x 1024	74.9	69.9
	1280 x 1024	81.1	76.1
SGI	1024 x 768	49.7	60.4
	1280 x 1024	63.9	60.0
	1152 x 900	71.7	76.1
HP	1280 x 1024	78.1	72.0

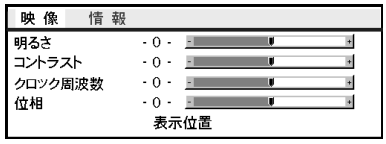
（U3-1100SF/U3-1100Z）
表示画素数は1024×768ドットです。1280×1024ドット等、1024×768ドット以外の表示解像度を表示する際、文字や罫線の大きさなどが不均一になる場合があります。

（U3-810SF/U3-810Z）
表示画素数は800×600ドットです。1024×768ドット等、800×600ドット以外の表示解像度を表示する際、文字や罫線の大きさなどが不均一になる場合があります。

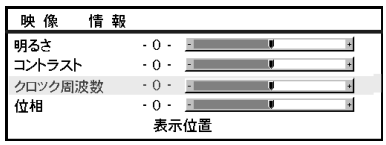
■ クロック周波数、位相の調整をする

1 **入力で『RGB』を選ぶ（☞ 27ページ）**

2 **MENUボタンを押してメインメニューを表示し、カーソルの◀／▶を押して『映像』を選ぶ**

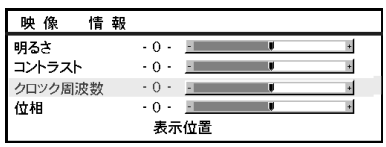


3 **カーソルの▲／▼を押して『クロック周波数』を選ぶ**



4 **カーソルの◀／▶を押して、スクリーンに対する映像の幅を調整する**

調整はドット単位の信号で行います。縦のちらつきがなくなる位置に合わせてください。



映像範囲が広い場合（クロック周波数が大きいとき）

カーソルの◀を押して幅を狭くする。

——：投射表示範囲
- - - -：映像範囲幅

映像範囲が狭い場合（クロック周波数が小さいとき）

カーソルの▶を押して幅を広くする。

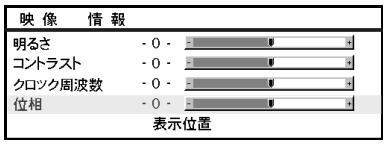
——：投射表示範囲
- - - -：映像範囲幅

▶を押すと数字が増え、
◀を押すと数字が減ります。

（次ページへ続く）

パソコン画像をマニュアル調整する（つづき）

5 **カーソルの▲／▼を押して『位相』を選ぶ**



6 **カーソルの◀／▶を押して、映像のノイズ、ちらつき、色ずれなどが最小になるように調整する**

▶を押すと数字が増え、
◀を押すと数字が減ります。

他のメニュー名を選択するときは

MENUボタンを押してください。カーソルが消えメニュー名選択に変わります。

メニューを消すときは

CANCELボタンを押します。

RGB端子に別のパソコン、機器を接続し直したときは

本体のAUTOボタンかリモコンのフリップを開いてリモコンのAUTOボタンを押してください。

設定中、映像が映らなくなったときは

設定中、クロック周波数や位相が大幅にずれて映像が映らなくなったときは、次の手順にしたがってください。

❶接続している機器の電源を切る。
入力信号が止まり、ブルーバックまたはブラックバックのいずれか（バックグラウンドの設定によって変わります。☞ 45ページ）が投影されます。

❷「リセットする」（☞ 39 ページ）を行う。

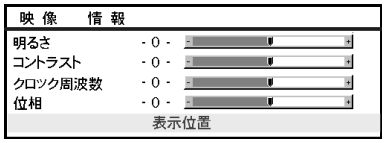
❸再度クロック周波数と位相の調整を行う。

■ 画面位置を調整する

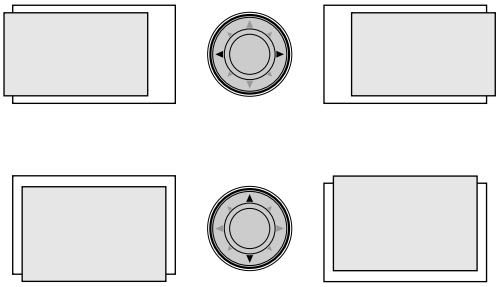
画面が上下左右に寄っているときに、垂直位置や、水平位置を調整します。

1 **「クロック周波数、位相の調整をする」（☞ 37,38ページ）の手順1〜6を行う**

2 **カーソルの▲／▼を押して『表示位置』を選びENTERボタンを押す**



3 **カーソルの◀／▶と▲／▼を押して、水平方向・垂直方向の位置を調整する**



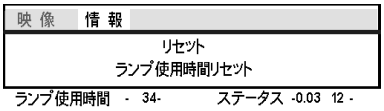
リセットする

■ リセットする

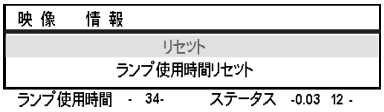
メニュー上から変更した項目を標準値に戻すことができます。
リセット時の選択されている入力について以下の項目を除く全ての項目がリセットされます。

- ランプ使用時間
- キーストーン調整値（キーストーンの設定［☞ 43ページ］の値も含みます）
- 入力切替

1 リモコンのMENUボタンを押してノーマルメニューを表示し、カーソルの◀／▶を押して『情報』を選ぶ



2 情報メニューを表示し、カーソルの▲／▼を押して『リセット』を選び、ENTERボタンを押す



3 リセットする場合はENTERを、しない場合はCANCELを押します

他のメニュー名を選択するときは

MENUボタンを押してください。カーソルが消えメニュー名選択に変わります。

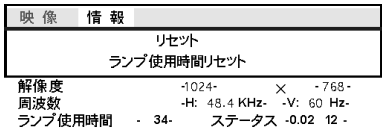
メニューを消すときは

CANCELボタンを押します。

■ ランプ使用時間をリセットする

ランプを交換したら（☞ 52ページ）、メニューのランプ使用時間をリセットする必要があります。

1 リモコンのメニューボタンを押し、カーソルの◀／▶で『情報』メニューを表示させてランプの使用時間を確認します



2 情報メニューを表示し、カーソルの▲／▼を押して『ランプ使用時間リセット』を選び、ENTERボタンを押す

3 リセットする場合はENTERを、しない場合はCANCELを押します

リセットされるとランプ使用時間が0になります。

■ ランプ使用時間が 1100 時間を超えたため、電源が入らないときは

ランプ使用時間が1100時間を超えると電源が入らなくなります。このため、メニュー表示もできません。このときは、ランプハウスを交換したあとに、以下のようにリセットしてください。

1 電源コードを接続する（☞ 24ページ）

スタンバイ状態になります。

2 本体のSOUCEボタンとAUTOボタンを同時に５秒以上押す

ランプ通算使用時間がリセットされます。

リセットされると、ランプ使用時間が1000時間を超えたため点灯していたSTATUSインジケータ（☞ 51ページ）が消えます。

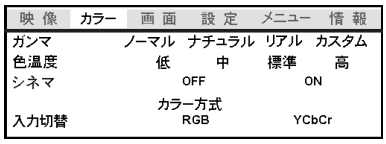
画像を細かく設定する（アドバンストメニュー）

■ 映像内容に合せた色みを設定する。

お好みで、微妙な色みを設定することができます。入力ごとに設定することができます。

1 **イメージ選択する入力を選ぶ**
（☞ 27ページ）

2 **リモコンのフリップを開いた状態でMENUボタンを押してアドバンストメニューを表示し、カーソルの◀／▶を押して『カラー』を選ぶ**



3 **カーソルの▲／▼を押して『ガンマ』を選ぶ**

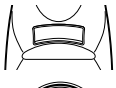
4 **カーソルの◀／▶を押して、『ガンマ』の設定をする**

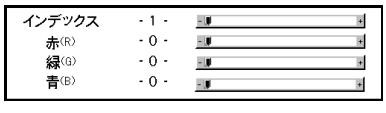
以下の選択ができます。

●ノーマル　●ナチュラル　●リアル　●カスタム

『ノーマル』は標準設定『ナチュラル』は色み重視、『リアル』は明るさ重視です。『カスタム』で、お好みの調整を行うこともできます。

5 **カーソルの◀／▶を押して、『カスタム』に合わせ、ENTERボタンを押すと、下記メニューが表示され、ガンマ値の設定が行えます。31ポイントあるインデックス値ごとにR、G、Bの各値を設定することができます。**



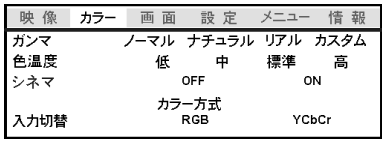


■ 色のバランスを調節する

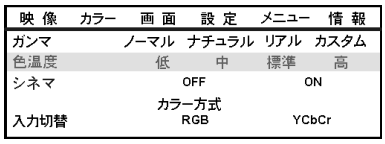
色のバランス（ホワイトバランス）を入力ごとに設定することができます。

1 **イメージ選択する入力を選ぶ**
（☞ 27ページ）

2 **リモコンのフリップを開いた状態でMENUボタンを押してアドバンストメニューを表示し、カーソルの◀／▶を押して『カラー』を選ぶ**

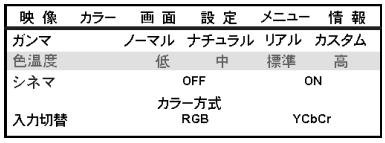


3 **カーソルの▲／▼を押して『色温度』を選ぶ**

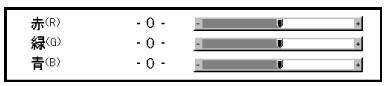


4 **カーソルの◀／▶を押して、『色温度』の選択をする**

『低』『中』『標準』『高』4種類のそれぞれ異なった色合いがあらかじめ設定されています。



5 **さらにENTERボタンを押すと下記のようなサブメニューが表示されそれぞれ微調整が可能です。**



※ノーマル

他のメニュー名を選択するときは

MENUボタンを押してください。カーソルが消えメニュー名選択に変わります。

メニューを消すときは

CANCELボタンを押します。

■ 映画モードを設定する

暗めの部屋・明るい部屋でビデオ映像を楽しむときの設定です。
映像のホワイト強調の機能で、VIDEO, S-VIDEO, YCbCr入力選択時に動作します。

1 リモコンのフリップを開いた状態でMENUボタンを押してアドバンストメニューを表示し、カーソルの◀／▶を押して『カラー』を選ぶ

映像	カラー	画面	設定	メニュー	情報
ガンマ		ノーマル	ナチュラル	リアル	カスタム
色温度		低	中	標準	高
シネマ		OFF		ON	
入力切替		カラー方式 RGB		YCbCr	

2 カーソルの▲／▼を押して『シネマ』を選ぶ

映像	カラー	画面	設定	メニュー	情報
ガンマ		ノーマル	ナチュラル	リアル	カスタム
色温度		低	中	標準	高
シネマ		OFF		ON	
入力切替		カラー方式 RGB		YCbCr	

3 カーソルの◀／▶を押して、『シネマ』の設定をする

以下の選択ができます。

『ON』は暗めの部屋に適し、白色付近が自然でなめらかな映像になります。

『OFF』は明るい部屋に適し、白色が強調されたメリハリのある映像になります。

映像	カラー	画面	設定	メニュー	情報
ガンマ		ノーマル	ナチュラル	リアル	カスタム
色温度		低	中	標準	高
シネマ		OFF		ON	
入力切替		カラー方式 RGB		YCbCr	

■ カラー方式を選ぶ

本機で対応しているカラー方式は、以下の通りです。
● NTSC 3.58　●NTSC 4.43
● PAL　●PAL-M　●PAL-N　●PAL 60
● SECAM
尚、コンポーネントビデオ（YCbCr）はNTSC 3.58とPALのみの対応です。
『AUTO』にすると自動判別されます。

1 カラー方式を選択する入力を選ぶ
（☞ 27ページ）

2 リモコンのフリップを開いた状態でMENUボタンを押してアドバンストメニューを表示し、カーソルの◀／▶を押して『カラー』を選ぶ

映像	カラー	画面	設定	メニュー	情報
ガンマ		ノーマル	ナチュラル	リアル	カスタム
色温度		低	中	標準	高
シネマ		OFF		ON	
入力切替		カラー方式 RGB		YCbCr	

3 カーソルの▲／▼を押して『カラー方式』を選びENTERボタンを押す

映像	カラー	画面	設定	メニュー	情報
ガンマ		ノーマル	ナチュラル	リアル	カスタム
色温度		低	中	標準	高
シネマ		OFF		ON	
入力切替		カラー方式 RGB		YCbCr	

4 カーソルの▲／▼を押して、カラー方式を選び、ENTERボタンを押して決定する

オート
NTSC
NTSC 4.43
PAL
PAL M
PAL N
PAL60
SECAM

他のメニュー名を選択するときは

MENUボタンを押してください。カーソルが消えメニュー名選択に変わります。

メニューを消すときは

CANCELボタンを押します。

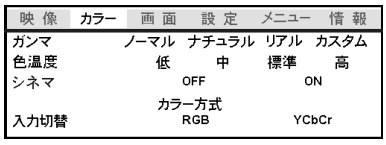
（次ページへ続く）

画像を細かく設定する（アドバンストメニュー）（つづき）

■ RGB／YCbCr端子の設定をする。

RGB／YCbCr端子はRGB入力端子もしくはコンポーネントビデオ信号（YCbCr）の入力端子として切り替えてお使いいただく事ができます。

1 **リモコンのフリップを開いた状態でMENUボタンを押してアドバンストメニューを表示し、カーソルの◀／▶を押して『カラー』を選ぶ**



2 **カーソルの▲／▼を押して『入力切替』を選ぶ**

3 **カーソルの◀／▶を押して、『入力切替』の設定をする**

以下の選択ができます。

●RGB ●YCbCr

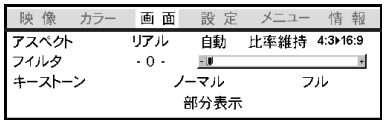
映像内容に合わせた設定にする

■ 表示画面を設定する

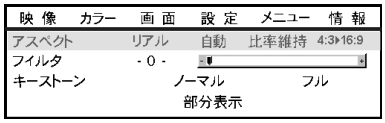
表示する画像の縦横比を、入力ごとに設定することができます。

1 **イメージ選択する入力を選ぶ（☞ 27ページ）**

2 **リモコンのフリップを開いたままMENUボタンを押してアドバンストメニューを表示し、カーソルの◀／▶を押して『画面』を選ぶ**



3 **画面を表示し、カーソルの▲／▼を押して『アスペクト』を選ぶ**



4 **カーソルの◀／▶を押して、『アスペクト』の設定をする**

以下の4種類の設定が選べます。

- **リアル（入力信号を画素変換せずに投影します）**
- **自動（入力信号を自動拡大／縮小して投影します）**
- **比率維持（入力信号の画像の縦横比を維持して自動拡大／縮小します）**
- **4:3→16：9（4:3映像が16：9映像となるように比率を変換して投影します）**

他のメニュー名を選択するときは

MENUボタンを押してください。カーソルが消えメニュー名選択に変わります。

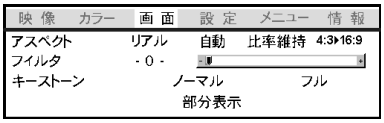
メニューを消すときは

CANCELボタンを押します。

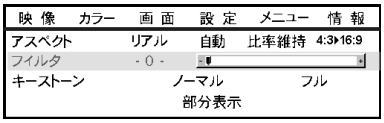
■ フィルタの設定

画素変換（画像の圧縮／拡大）を行う時の鮮明度を設定します。画素変換が行われない時この設定は無効です。

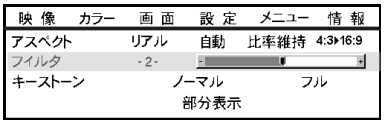
1 リモコンのフリップを開いたままMENUボタンを押してアドバンストメニューを表示し、カーソルの◀／▶を押して『画面』を選ぶ



2 画面を表示し、カーソルの▲／▼を押して『フィルタ』を選ぶ



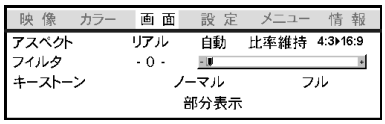
3 カーソルの◀／▶を押して、鮮明度を調節する



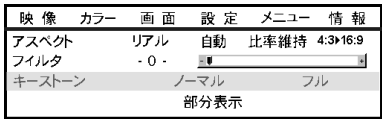
■ キーストーンの設定

キーストーン調整時の高さ方向の設定ができます。

1 リモコンのフリップを開いたままMENUボタンを押してアドバンストメニューを表示し、カーソルの◀／▶を押して『画面』を選ぶ

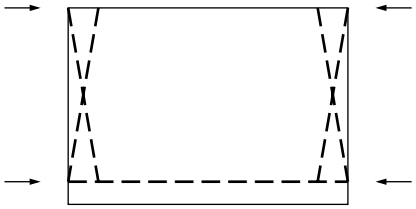


2 画面を表示し、カーソルの▲／▼を押して『キーストーン』を選ぶ

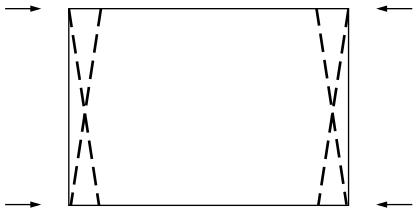


3 カーソルの◀／▶を押して、『ノーマル』か『フル』を選ぶ

- 『ノーマル』　アスペクト比を維持した通常のキーストーン補正モード



- 『フル』　高さ方向を画面のフルサイズまで拡大してキーストーン補正するモード



他のメニュー名を選択するときは

MENUボタンを押してください。カーソルが消えメニュー名選択に変わります。

メニューを消すときは

CANCELボタンを押します。

（次ページへ続く）

映像内容に合わせた設定にする（つづき）

■ 表示部分を設定する

RGB入力にXGA（U3-810SF／U3-810Zは SVGA）を超える解像度の信号が入力されていて、アスペクト設定（☞ 42ページ）が『リアル』の時に、部分表示する位置を設定できます。

1 **リモコンのフリップを開いたままでMENUボタンを押してアドバンストメニューを表示し、カーソルの◀／▶を押して『画面』を選ぶ**

映像	カラー	画面	設定	メニュー	情報
アスペクト		リアル	自動	比率維持	4:3▸16:9
フィルタ		- 0 -			
キーストーン		ノーマル		フル	
		部分表示			

2 **画面を表示し、カーソルの▲／▼を押して『部分表示』を選びENTERボタンを押す**

映像	カラー	画面	設定	メニュー	情報
アスペクト		リアル	自動	比率維持	4:3▸16:9
フィルタ		- 0 -			
キーストーン		ノーマル		フル	
		部分表示			

3 **カーソルの▲／▼、◀／▶を押して、表示位置の設定をする**

初期設定をする

■ 音声をミュートする

入力ごとに音声ミュート（消音）を設定することができます。本機に複数の映像機器をつないでお使いいただく時に便利な機能です。

1 **音声ミュートの設定をする入力を選ぶ（☞ 27ページ）**

2 **リモコンのフリップを開いた状態でMENUボタンを押してアドバンストメニューを表示し、カーソルの◀／▶を押して『設定』を選ぶ**

映像	カラー	画面	設定	メニュー	情報
音声ミュート			OFF		ON
バックグラウンド			ブルー		ブラック
オートゲイン			OFF		ON
オートソース			OFF		ON
			投射方法		
省電力			OFF		ON

3 **カーソルの▲／▼を押して『音声ミュート』を選び、カーソルの◀／▶でON/OFFを設定する**

映像	カラー	画面	設定	メニュー	情報
音声ミュート			OFF		ON
バックグラウンド			ブルー		ブラック
オートゲイン			OFF		ON
オートソース			OFF		ON
			投射方法		
省電力			OFF		ON

他のメニュー名を選択するときは

MENUボタンを押してください。カーソルが消えメニュー名選択に変わります。

メニューを消すときは

CANCELボタンを押します。

■ バックグラウンドを選ぶ

信号入力がないときに投影されるバックグラウンドを2種類のなかから選ぶことができます。

1 リモコンのフリップを開いた状態でMENUボタンを押してアドバンストメニューを表示し、カーソルの◀／▶を押して『設定』を選ぶ

映像	カラー	画面	設定	メニュー	情報
音声ミュート		OFF		ON	
バックグラウンド		ブルー		ブラック	
オートゲイン		OFF		ON	
オートソース		OFF		ON	
		投射方法			
省電力		OFF		ON	

2 カーソルの▲／▼を押して『バックグラウンド』を選ぶ

映像	カラー	画面	設定	メニュー	情報
音声ミュート		OFF		ON	
バックグラウンド		ブルー		ブラック	
オートゲイン		OFF		ON	
オートソース		OFF		ON	
		投射方法			
省電力		OFF		ON	

3 カーソルの◀／▶を押して、以下のうちからお好みのバックグラウンドを選ぶ

- ブルーバック
- ブラックバック

他のメニュー名を選択するときは

MENUボタンを押してください。カーソルが消えメニュー名選択に変わります。

メニューを消すときは

CANCELボタンを押します。

■ オートゲインの設定

明るさ、コントラストを自動調節します。

1 オートゲインの設定をする入力を選ぶ（☞ 27ページ）

2 リモコンのフリップを開いた状態でMENUボタンを押してアドバンストメニューを表示し、カーソルの◀／▶を押して『設定』を選ぶ

映像	カラー	画面	設定	メニュー	情報
音声ミュート		OFF		ON	
バックグラウンド		ブルー		ブラック	
オートゲイン		OFF		ON	
オートソース		OFF		ON	
		投射方法			
省電力		OFF		ON	

3 カーソルの▲／▼を押して『オートゲイン』を選び、カーソルの◀／▶でON/OFFを設定する

映像	カラー	画面	設定	メニュー	情報
音声ミュート		OFF		ON	
バックグラウンド		ブルー		ブラック	
オートゲイン		OFF		ON	
オートソース		OFF		ON	
		投射方法			
省電力		OFF		ON	

■ オートソースの設定

入力信号を自動的に探します。

1 リモコンのフリップを開いた状態でMENUボタンを押してアドバンストメニューを表示し、カーソルの◀／▶を押して『設定』を選ぶ

映像	カラー	画面	設定	メニュー	情報
音声ミュート		OFF		ON	
バックグラウンド		ブルー		ブラック	
オートゲイン		OFF		ON	
オートソース		OFF		ON	
		投射方法			
省電力		OFF		ON	

2 カーソルの▲／▼を押して『オートソース』を選び、カーソルの◀／▶でON/OFFを設定する。

映像	カラー	画面	設定	メニュー	情報
音声ミュート		OFF		ON	
バックグラウンド		ブルー		ブラック	
オートゲイン		OFF		ON	
オートソース		OFF		ON	
		投射方法			
省電力		OFF		ON	

ON ：全ての入力信号を探します。

OFF：リモコンのVIDEOボタン　VIDEOもしくはS-VIDEO信号を探します。

リモコンのRGBボタン　RGBもしくはYCbCr信号を探します。

本体のSOURCEボタン　全ての入力信号について1つずつ探します。

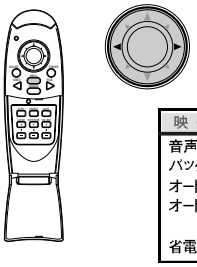
（次ページへ続く）

初期設定をする（つづき）

■ 投射方法を選ぶ

投射方法が設置条件に合うように設定されていないと、映像が上下逆になったり、左右逆になったりします。

1 リモコンのフリップを開いた状態でMENUボタンを押してアドバンストメニューを表示し、カーソルの◀／▶を押して『設定』を選ぶ



映像	カラー	画面	設定	メニュー	情報
音声ミュート		OFF		ON	
バックグラウンド		ブルー		ブラック	
オートゲイン		OFF		ON	
オートソース		OFF		ON	
		投射方法			
省電力		OFF		ON	

2 設定を表示し、カーソルの▲／▼を押して『投射方法』を選んでENTERボタンを押す

映像	カラー	画面	設定	メニュー	情報
音声ミュート		OFF		ON	
バックグラウンド		ブルー		ブラック	
オートゲイン		OFF		ON	
オートソース		OFF		ON	
		投射方法			
省電力		OFF		ON	

3 カーソルの▲／▼を押して、設定条件に合った投射方法を選ぶ

ノーマル
上下／左右反転
左右反転
上下反転

押すごとに以下のように変わります。

ノーマル ⇔ 上下／左右反転
⇳ ⇳
上下反転 ⇔ 左右反転

■ 節電機能を使う

５分以上信号入力がないと自動的に電源を切り、スタンバイ状態にする機能です。

1 リモコンのフリップを開いたままMENUボタンを押してアドバンストメニューを表示し、カーソルの◀／▶を押して『設定』を選ぶ

映像	カラー	画面	設定	メニュー	情報
音声ミュート		OFF		ON	
バックグラウンド		ブルー		ブラック	
オートゲイン		OFF		ON	
オートソース		OFF		ON	
		投射方法			
省電力		OFF		ON	

2 設定を表示し、カーソルの▲／▼を押して『省電力』を選ぶ

映像	カラー	画面	設定	メニュー	情報
音声ミュート		OFF		ON	
バックグラウンド		ブルー		ブラック	
オートゲイン		OFF		ON	
オートソース		OFF		ON	
		投射方法			
省電力		OFF		ON	

3 カーソルの◀／▶を押して、ON/OFFを設定する

映像	カラー	画面	設定	メニュー	情報
音声ミュート		OFF		ON	
バックグラウンド		ブルー		ブラック	
オートゲイン		OFF		ON	
オートソース		OFF		ON	
		投射方法			
省電力		OFF		ON	

他のメニュー名を選択するときは

MENUボタンを押してください。カーソルが消えメニュー名選択に変わります。

メニューを消すときは

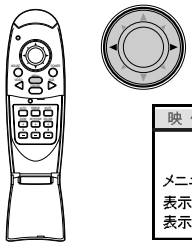
CANCELボタンを押します。

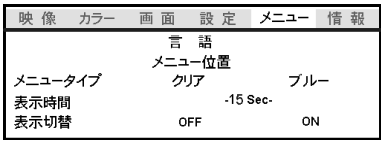
メニューを設定する

■ 表示言語を選ぶ

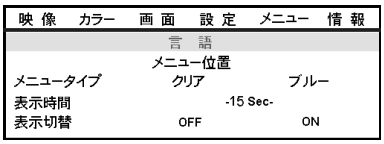
メニューの表示言語を8ヵ国語の中から選びます。

1 リモコンのフリップを開いたままMENUボタンを押してアドバンストメニューを表示し、カーソルの◀／▶を押して『メニュー』を選ぶ





2 メニューを表示し、カーソルの▲／▼を押して『言語』を選んでENTERボタンを押す



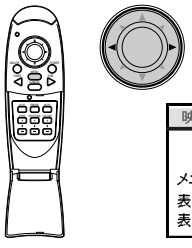
3 カーソルの▲／▼を押して、以下の言語を選ぶ

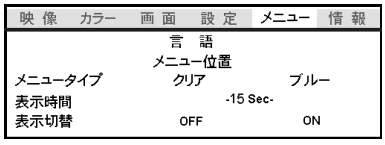
- ENGLISH（英語）
- DEUTSCH（ドイツ語）
- FRANÇAIS（フランス語）
- ITALIANO（イタリア語）
- ESPAÑOL（スペイン語）
- SVENSKA（スウェーデン語）
- 中文（中国語）
- 日本語

■ メニューの表示位置を設定する

メニューの表示位置を設定できます。

1 リモコンのフリップを開いたままでMENUボタンを押してアドバンストメニューを表示し、カーソルの◀／▶を押して『メニュー』を選ぶ





2 メニューを表示し、カーソルの▲／▼を押して『メニュー位置』を選びENTERボタンを押す

3 カーソルの▲／▼、◀／▶を押して、表示位置の設定をする

他のメニュー名を選択するときは

MENUボタンを押してください。カーソルが消えメニュー名選択に変わります。

メニューを消すときは

CANCELボタンを押します。

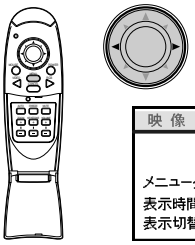
（次ページへ続く）

メニューを設定する（つづき）

■ メニューの見え方の設定

メニューの表示タイプを設定できます。

1 **リモコンのフリップを開いたままでMENUボタンを押してアドバンストメニューを表示し、カーソルの◀／▶を押して『メニュー』を選ぶ**



映像	カラー	画面	設定	メニュー	情報
		言語			
		メニュー位置			
メニュータイプ		クリア		ブルー	
表示時間		-15 Sec-			
表示切替		OFF		ON	

2 **メニューを表示し、カーソルの▲／▼を押して『メニュータイプ』を選びます**

映像	カラー	画面	設定	メニュー	情報
		言語			
		メニュー位置			
メニュータイプ		クリア		ブルー	
表示時間		-15 Sec-			
表示切替		OFF		ON	

3 **カーソルの◀／▶を押して、『クリア』か『ブルー』を選びます**

映像	カラー	画面	設定	メニュー	情報
		言語			
		メニュー位置			
メニュータイプ		クリア		ブルー	
表示時間		-15 Sec-			
表示切替		OFF		ON	

他のメニュー名を選択するときは

MENUボタンを押してください。カーソルが消えメニュー名選択に変わります。

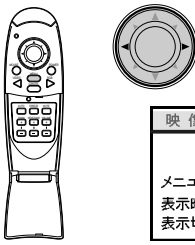
メニューを消すときは

CANCELボタンを押します。

■ メニューの表示時間の設定

メニューが画面上に表示される時間を設定できます。

1 **リモコンのフリップを開いたままでMENUボタンを押してアドバンストメニューを表示し、カーソルの◀／▶を押して『メニュー』を選ぶ**



映像	カラー	画面	設定	メニュー	情報
		言語			
		メニュー位置			
メニュータイプ		クリア		ブルー	
表示時間		-15 Sec-			
表示切替		OFF		ON	

2 **メニューを表示し、カーソルの▲／▼を押して『表示時間』を選びます**

映像	カラー	画面	設定	メニュー	情報
		言語			
		メニュー位置			
メニュータイプ		クリア		ブルー	
表示時間		-15 Sec-			
表示切替		OFF		ON	

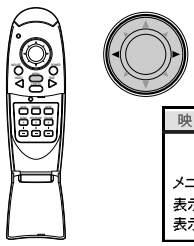
3 **カーソルの◀／▶を押して、５秒から３０秒まで設定できます**

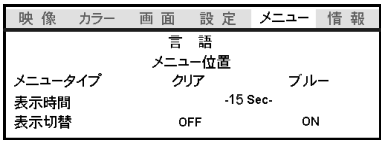
映像	カラー	画面	設定	メニュー	情報
		言語			
		メニュー位置			
メニュータイプ		クリア		ブルー	
表示時間		-15 Sec-			
表示切替		OFF		ON	

■ オンスクリーン表示をする

工場出荷時は、この機能は『ON』になっています。『ON』のときは、リモコンボタンで入力切り換えをしたときに、表示時間（☞ 48ページ）で設定した長さだけスクリーンに入力表示をします。また、電源を入れたときに、入力メニューが表示され、電源投入時に何の入力が選択されているかがわかります。その他に『ＦＲＥＥＺＥ』『ＭＵＴＥ』『ＺＯＯＭ』『KEYSTONE』『VOLUME』設定時にメニューバー等で状態を表示します。

1 リモコンのフリップを開いたままでMENUボタンを押してアドバンストメニューを表示し、カーソルの◀／▶を押して『メニュー』を選ぶ

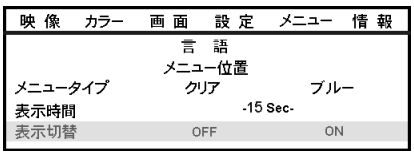




2 メニューを表示し、カーソルの▲／▼を押して『表示切換』を選びます

3 カーソルの▶を押して、『ON』にする

『OFF』にするときはカーソルの◀を押します。



他のメニュー名を選択するときは

MENUボタンを押してください。カーソルが消えメニュー名選択に変わります。

メニューを消すときは

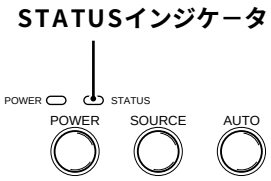
CANCELボタンを押します。

故障かな？と思ったら

修理を依頼される前に、次のことをご確認ください。

このようなとき	確認してください	参照ページ
電源が入らない	● 電源プラグがコンセントから抜けていませんか。	**24**
	● ランプカバーが正しく取り付けられていますか。	**52, 53**
	● 内部温度が高くなっていませんか。内部の温度が異常に高いと保護のため電源は入りません。	**51**
	● ランプ使用時間が1100時間を超えていませんか。1100時間を超えると電源が入らなくなります。	**39, 51**
映像が出ない	● 接続されている入力を選んでいますか。	**27**
	● 入力端子のケーブルが正しく接続されていますか。	**20, 21, 22**
	● 画像調整の明るさ、コントラストが最小になっていませんか。	**34**
	● スライド式レンズシャッターを閉じたままではありませんか。	**24**
	● ランプが切れていませんか。	**51, 52**
	● ランプの使用時間が1100時間を超えていませんか。	**39, 51**
	● ノート型パソコンをご使用の場合、プロジェクタと接続してからパソコンの電源を入れましたか。また、パソコンの設定が外部RGB出力端子へ出力されない設定になっていませんか。 ノート型パソコンは、多くの場合、プロジェクタと接続した状態で電源を入れないと外部RGB出力端子に信号が出力されません。	**22, 23**
	● STATUSインジケータが点滅していませんか。	**51**
映像が歪む	● 正しく設置されていますか。	**24, 25**
	● KEYSTONE(キーストーン)調整を正しく合わせていますか	**25**
映像がぼやける	● レンズのフォーカスは合っていますか。	**25**
	● 投射画面とプロジェクタが正しい角度で設置されていますか。	**24**
	● 投射距離がフォーカスの合う範囲を超えていませんか。	**18, 19**
	● レンズなどが結露していませんか。 気温が低い所に保管しておいて暖かい所で電源を入れるとレンズや内部の光学部が結露することがあります。このような場合は結露がなくなるまで数分お待ちください。	**ー**
水平または垂直方向に映像がずれて正常に表示されない	● 画面の水平位置、垂直位置を正しく調整しましたか。	**38**
	● クロック周波数を正しく調整しましたか。	**37, 38**
	● 入力信号が対応している解像度、周波数になっていますか。パソコンの解像度を確認してください。	**36**
リモコンが働かない	● 送信インジケータ(LED)が点灯していますか。点灯しない場合は電池が消耗しています。このような場合は、新しい電池と交換してください。	**16, 17**
	● リモコンと本体のリモコン受光部の間に障害物がありませんか。	**17**
	● 有効範囲を超えていませんか。	**17**
	● 強い光または蛍光灯が受光部のそばにありませんか。	**17**
ワイヤレスマウスが働かない	● 本体のMOUSE端子とパソコンを正しく接続していますか。	**28**
	● 本体のMOUSE端子に接続してからパソコンを起動しましたか。	**28**
STATUSインジケータが点滅する	● STATUSインジケーター一覧をご覧ください。	**51**
RGB入力で文字がチラついたり色がずれている場合	● マニュアルでクロック周波数および位相を調整してください。	**37, 38**
	● AUTOボタンを押して下さい。	

STATUS（ステータス）インジケータが点灯／点滅しているときは



OFF	● 通常
ON（点灯）	● ランプ使用時間が1000時間を超えました。新しいランプに交換してください。
1秒間隔で点滅 (0.5秒点灯／0.5秒消灯)	● ランプカバーが正しく取り付けられていません。正しく取り付けてください。
4秒間に1回の間隔で点滅 (2秒点灯／2秒消灯)	● 温度プロテクタが作動しています。室温が高い場合は、プロジェクタを涼しい場所へ移動してください。プロジェクタ内部の温度が高い場合は、冷却ファン通風孔や底面の通気孔を調べて、目詰まりしている時は掃除をしてください。 ● 温度プロテクタが作動し、電源を切ったあとにすぐONすると、電源が入らないことがあります。その場合は1分間待ってからもう一度ONしてください。 ● ランプ点灯電圧異常検出プロテクタが作動しています。そのまま1分間以上待って再度電源をONしてもなおらない場合は販売店、または弊社「カスタマーセンター」にご相談ください。
8秒間に1回の間隔で点滅 (4秒点灯／4秒消灯)	● ファンが停止しています。販売店、または弊社「カスタマーセンター」へ修理を依頼してください。
12秒間に1回の間隔で点滅 (6秒点灯／6秒消灯)	● ランプが点灯しません。1分間以上待って再度電源をONしてください。 それでもなおらない場合は販売店、または弊社「カスタマーセンター」にご相談ください。

温度プロテクタについて

プロジェクタ内部の温度が異常に高くなるとSTATUSインジケータが（4秒間に1回の間隔で）点滅します。
同時に温度プロテクタが働いてプロジェクタの電源が切れます。
このときは、以下のことを行ってください。

1. 電源コードをコンセントから抜きます。

2. 次の事項を確認し、必要な処置をしてください。

周囲温度が高い場所に置いて使用しているときは、適切な場所に設置しなおしてください。

3. プロジェクタの温度が下がるまで、約60分待ってください。

以上のことを行っても解決しないときは、販売店または、弊社「カスタマーセンター」にご相談ください。

ランプカートリッジを交換する

本機の光源に使われているランプには寿命があります。ランプの定格寿命は約1,000時間です。（定格寿命とは、長期間に製造されたランプの、寿命の平均値を言い、当社試験条件によるものです。）
なお、ランプ寿命は約1,000時間ですが、使用条件などにより早まる場合があります。
ランプの使用時間が1000時間を超えるとSTATUSインジケータが点灯し、使用時間表示が画面上に表示されます。また、1100時間を超えるとランプがつかなくなります。
この場合はランプカートリッジの交換時期です。以下の手順にしたがって交換してください。

⚠注意

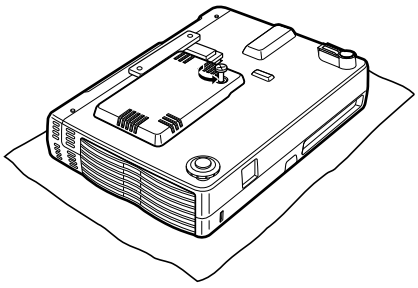
- **ランプカートリッジの交換は、電源を切り、冷却ファン停止後、電源プラグをコンセントから抜き、約60分おいてから行ってください。**
  動作中や停止直後にランプカートリッジを交換すると高温のため、やけどの原因となることがあります。
- **指定のネジ以外は外さないでください。**
- **プロジェクタの光源には、内部圧力の高い水銀ランプ（以下、高圧水銀ランプ又はランプと言う）を使用しております。取り扱いには十分にご注意ください。**
- **ランプの使用時間が1000時間を超えると、本体のSTATUSインジケーターが点灯いたします。**
  ランプが正常に点灯している場合でも速やかに新しいランプと交換してください。
- **高圧水銀ランプは衝撃や傷、使用時間の経過による劣化の原因により、不点灯状態となって寿命が尽きたり、大きな音をともなって破裂したりする特性があります。**
- **ランプカートリッジのガラスの部分を素手で触らないでください。ランプの破裂や寿命が短くなる原因となります。また、ランプは使用条件や個体差によって寿命が異なります。**
  まれにですが、使用後まもなく破裂する事もあります。
- **高圧水銀ランプが破裂したとき、ランプハウスの中にガラスの破片が飛び散りランプ内部のガスがプロジェクタの通風孔を通じ外に漏れる可能性があります。**
  ランプが破裂した際には顔や手などを近づけず、速やかに販売店もしくは弊社「カスタマーセンター」（ 0120-331-059）にランプの交換と内部の点検を依頼してください。
- **高圧水銀ランプの内部には、水銀等の人体に有害な物質が含まれております。ランプが破裂したときにプロジェクタの近くに顔や手などがあり、万が一ランプから発生したガスを吸い込んだり、体に付着した場合には、速やかに医師にご相談ください。**
- **プロジェクタのランプは、蛍光灯やハロゲンランプと同じ有害物質（水銀、ハロゲン物質等）を使用しております。ご使用後のランプは、一般的な蛍光灯などと同じ分別方法で廃棄してください。**

準備　プロジェクタ本体を裏がえしにして傷がつかないように置くと、交換しやすくなります。交換後はもとに戻してください。

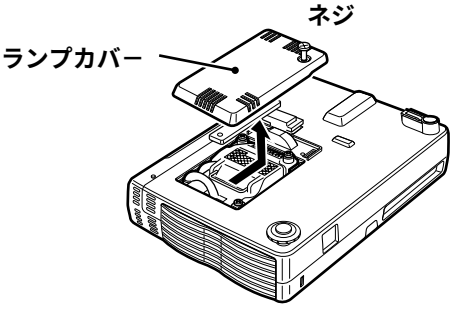
1. 電源コードを外す。

2. 本体の底面を上にする。

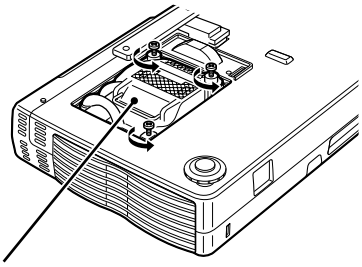
3. ランプカバーの止めネジをゆるめる。



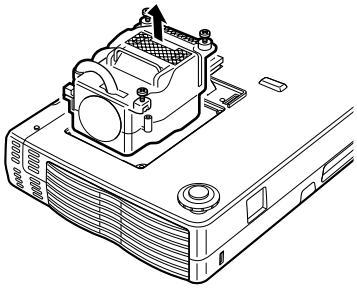
4. ランプカバーを外す。



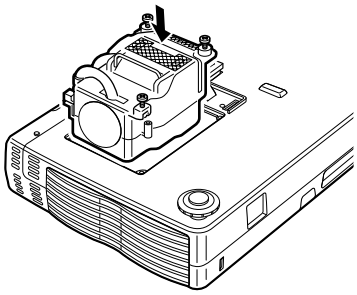
5. ランプカートリッジのネジ3本をゆるめる。



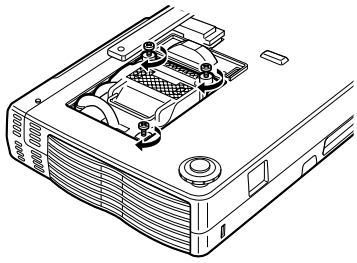
6. 取手をつかんでランプカートリッジを手前に引き、取り出す。



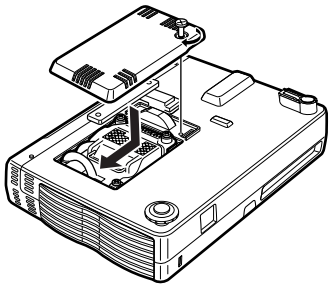
7. 新しいランプカートリッジを取り付ける。



8. ランプカートリッジのネジ3本を締める。



9. ランプカバーを元のように取り付け、止めネジで固定する。



10.ランプ時間をリセットする。

「ランプ使用時間をリセットする」（☞ 39ページ）

お知らせ

ランプ使用時間が1100時間を超えると、電源をオンにすることができなくなります。したがってメニューによるランプ使用時間のリセットができません。この場合は、スタンバイ状態で本体のSOURCEボタンとAUTOボタンを同時に5秒以上押してください（☞ 39ページ）。リセットされるとSTATUSインジケータが消灯します。
交換用ランプは販売店でお求めください。ご注文の際はU3-1100SF／U3-1100Z／U3-810SF／U3-810Z専用交換用ランプ型名U3-130(注文コード28-390)とご指定ください。

お手入れについて

- お手入れの前に必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
- プロジェクタ本体やレンズおよびスクリーンに殺虫剤など揮発性のものをかけたりしないでください。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにしないでください。変質したり、塗料がはげるなどの原因となります。

■ プロジェクタ本体の汚れは・・・・・・

- 毛羽立ちのすくない柔らかい乾いた布でふいてください。

  汚れのひどいときは、水でうすめた中性洗剤にひたした布をよく絞ってふき取り、乾いた布で仕上げてください。

  化学ぞうきんを使用する場合は、その注意書に従ってください。
- シンナーやベンジンなどの溶剤でふかないでください。変質したり、塗料がはげることがあります。
- スピーカー部のほこりを取り除く場合は、掃除機のブラシ付きのアダプタを使用してください。なお、アダプタを付けずに直接当てたり、ノズルアダプタを使用することは避けてください。
- プロジェクタ本体やスピーカー部を爪や硬いもので強くひっかいたり、当てたりしないでください。傷の原因となります。また、スピーカー部を鋭利なもので突き刺すと穴があく恐れがあります。

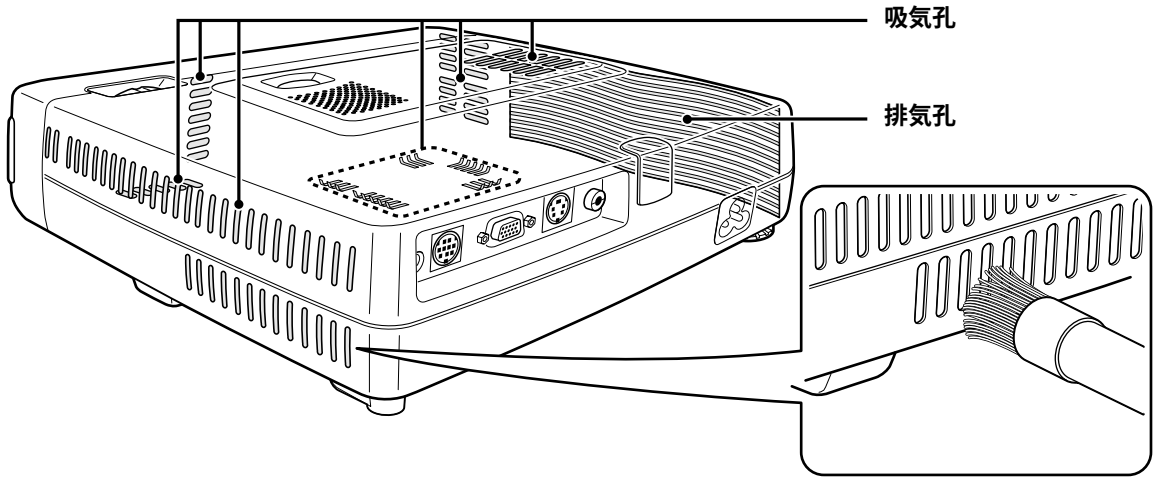
■ レンズの汚れは・・・・・・

- レンズ表面は特殊コーティングされています。お手入れは販売店、または弊社「カスタマーセンター」にご相談ください。

■ 吸気孔、排気孔のほこりは・・・・・・

吸気孔、排気孔にほこりがたまると空気の通りが悪くなり、内部の温度が上昇し、故障の原因となりますので、こまめに掃除をしてください。最低でも100時間を目安に掃除をしてください。

- 電源を切り、電源コードを抜いてください。
- 外側から電気掃除機で吸い取ってください。掃除機のブラシ付きのアダプタを使用してください。なお、アダプタを付けずに直接当てたり、ノズルアダプタを使用することは避けてください。



■ 本体内部の掃除は・・・・・・

年に1度くらいは本体内部の掃除が必要です。内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。内部の掃除は絶対にご自分でせず、必ずお買いあげの販売店、または弊社「カスタマーセンター」にご相談ください。

仕　様

製品型式名			U3-1100SF ／ U3-1100Z	U3-810SF ／ U3-810Z
投映方式			DLP（単板 DMD™）方式	
主要部品仕様	DMD	サイズ	0.7 型	
		画素数	786,432 画素(1024 × 768)	480,000 画素(800 × 600)
	投影レンズ		下記参照	
	光源		130W 高圧水銀灯	
	光学装置		ダイクロイックフィルターによる光時分割合成方式	
画面サイズ			下記参照	
色再現性			フルカラー（1,677 万色）	
明るさ（ノーマリーホワイト）			1000ANSI ルーメン	
コントラスト比			650：1（フルオン・オフ）	
音声出力			0.5W モノラルスピーカー内蔵	
走査周波数		水平	15 ～ 91kHz	
		垂直	50 ～ 85Hz	
調整機能			フォーカス(マニュアル)、投影角度、入力信号切替え(RGB(YCbCr) /S- ビデオ / ビデオ) 画面上下、左右反転、画面拡大、静止画、ミュート、(映像／音声とも)、電源オン／オフ RGB 信号自動位置／位相調整、デジタルキーストーン補正、明るさ、コントラスト、 色の濃さ、色相※1、シャープネス、ガンマ、色温度、アスペクト、音量	
アナログ RGB 入力	RGB/YCbCr 入力信号	信号方式	セパレート信号方式	
		映像信号	アナログ：0.7Vp-p ／ 75 Ω	
		同期信号	セパレート／コンポジット：TTL レベル(正／負) シンクオングリーン：0.3Vp-p 負 (映像：0.7Vp-p 正)	
		入力端子	ミニ D-SUB（15 ピン）×1	
	RGB 信号		VGA(640 × 480) S-VGA(800 × 600)拡大表示 XGA(1024 × 768)フル表示 SXGA(1280 × 1024)圧縮表示	VGA(640 × 480)拡大表示 S-VGA(800 × 600)フル表示 XGA(1024 × 768)圧縮表示
ビデオ入力	入力信号	信号方式	NTSC、PAL、PAL_M,N、PAL60、SECAM、NTSC4.43、YCbCr（NTSC、PAL のみ）	
		映像信号	コンポジット：1.0Vp-p ／ 75 Ω S 映像端子：Y 信号(1.0Vp-p ／ 75 Ω)、C 信号(0.286Vp-p ／ 75 Ω)	
		入力端子	RCA × 1、S 映像端子 × 1	
音声入力端子			音声信号：0.4Vrms ／ 47kΩ、ステレオミニジャック × 1（RGB ／ビデオ共通）	
マウス出力端子			ミニ DIN9P × 1	
水平解像度			NTSC:500 本以上	
温湿度条件			5℃ ～ 35℃、30 ～ 85%（ただし結露しないこと）	
電源			AC100 ～ 120V ／ AC220 ～ 240V、50/60Hz	
消費電力			180W	
外形寸法（突起部含まず）			230(幅) × 48(高) × 177(奥行)mm	
質量			約 1.5kg	
付属品			ワイヤレスリモコン、RGB信号ケーブル(ミニD-SUB15ピン：1m)、電源コード(1.8m)、 乾電池(単 4 × 2 本)、USB マウスケーブル、PS/2 マウスケーブル、オーディオケーブル（1m)、ビデオケーブル（1m)、S- ビデオケーブル(1m)、オーディオ変換ケーブル、 キャリングケース、インナーバッグ、取扱説明書（簡易版)、取扱説明書（CD-ROM版)、 保証書、ユーザー登録カード、FAX 発信用ユーザー登録用紙	

	U3-810SF	U3-1100SF	U3-810Z	U3-1100Z
投影レンズ	固定焦点 マニュアルフォーカス F=2.4　f=23mm	固定焦点 マニュアルフォーカス F=2.4　f=23mm	マニュアルズーム（×1.2） マニュアルフォーカス F=2.4～2.6　f=27.5～33.0mm	マニュアルズーム（×1.2） マニュアルフォーカス F=2.4～2.6　f=27.5～33.0mm
画面サイズ	最小35型（投影距離1.2m) 最大200型（投影距離6.8m)	最小36型（投影距離1.2m) 最大200型（投影距離6.6m)	最小25型（投影距離1.2mテレ時) 最大200型（投影距離9.8mワイド時)	最小26型（投影距離1.2mテレ時) 最大200型（投影距離9.4mワイド時)

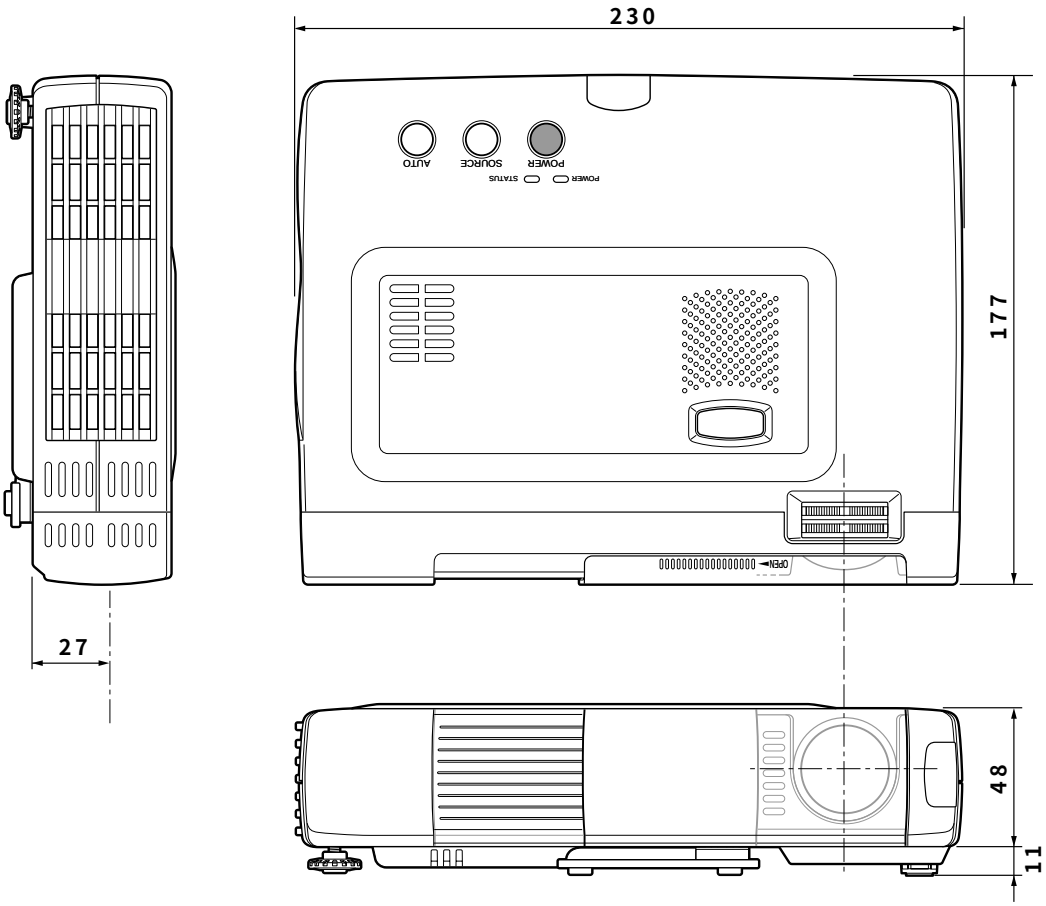
※1：NTSC, NTSC4.43のビデオ入力時以外はお使いいただけません。

- この仕様・意匠はお断りなく変更することがあります。
- 本製品の仕様は国内向けです。本体付属の電源コードは国内向けAC100V仕様なので海外では使用できません。日本以外で本製品を使用する場合は、販売店にご相談ください。また、外国では放送方式が異なりますので、よくお確かめの上ご使用ください。

外観図

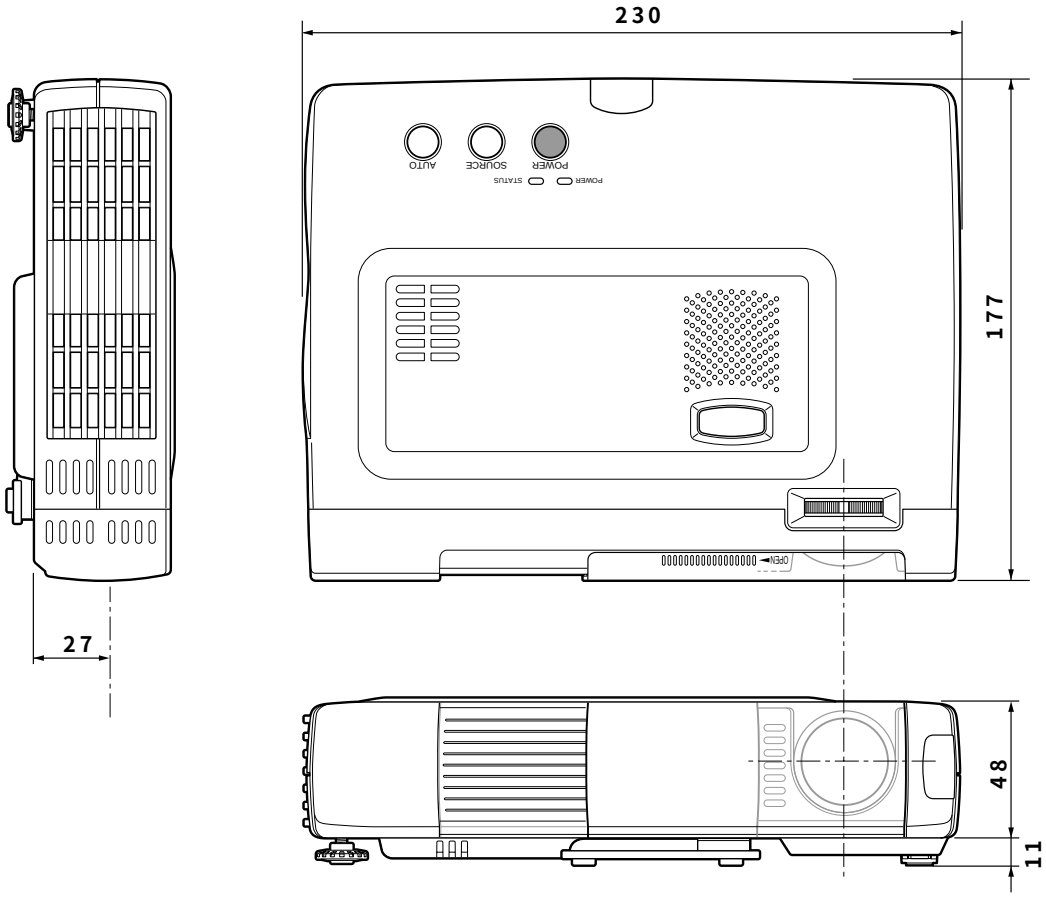
■ U3-1100Z/U3-810Z

[単位：mm]



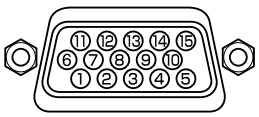
■ U3-1100SF/U3-810SF

[単位：mm]



RGB 入力端子と信号の関係

RGB入力端子は、ミニD-Sub 15ピン（アナログ）入力端子です。
各ピンの接続と信号レベルは以下の通りです。



信号レベル
ビデオ信号：0.7Vp-p（アナログ）／
同期信号：TTLレベル

ピンNo.	信号（アナログ）
1	赤
2	緑またはシンクオングリーン
3	青
4	接　地
5	接　地
6	赤　　接　地
7	緑　　接　地
8	青　　接　地
9	非接続
10	同期信号　　接　地
11	接　地
12	SDA
13	水平またはコンポジット同期
14	垂直同期
15	SCL

アフターサービス

お手持ちの製品が故障した場合には、次の要領で修理させていただきます。販売店または弊社「カスタマーセンター」にお申し出ください。なお、保証、使い方などのご不明の点につきましても、販売店または弊社「カスタマーセンター」をご利用ください。

●無料修理

故障した製品については、ご購入年月日、販売店名の記入された保証書(ご購入日より 1 年以内のもの)が添付されている場合には、無料修理させていただきます。その際修理は、保証書に記載されている内容の範囲内に限らせていただきます。詳しくは、保証書に記載されている製品保証規定をご覧ください。

●有料修理

保証期間を過ぎた修理は、原則として有料になります。保証期間内であっても、下記の様な場合はすべて有料となります。また運賃諸掛かりは、お客様にご負担願います。

1.修理ご依頼の際、保証書の提示または添付のないもの。
2.保証書にご購入年月日、販売店名が記入されていない場合、または字句が書き換えられている場合。
3.弊社または販売店以外で分解、改造されたもの。
4.火災、地震、風水害などの天災による損傷、故障。
5.お取り扱い上の不注意(取扱説明書以外の誤操作、落下、衝撃、手掛かり、砂・泥の付着、機内部への水・砂・泥の入り込みなど)、保管上の不備(高温多湿やナフタリン、しょうのうの入った場所での保管)、お手入れの不備(かび発生など)により生じた故障。
6.上記以外で弊社の責に帰すことのできない原因により生じた故障。
7.各部点検、精密検査、分解掃除などを特別に依頼されたもの。

●修理不能

浸(冠)水、強度の衝撃その他で損傷がひどく、故障前の性能に復元できないと思われるもの、および部品の手当が困難なものなどは修理できない場合もありますので、販売店または弊社「カスタマーセンター」にお問い合わせください。

●補修用性能部品の最低保有期間

当社は、本プロジェクタの補修用性能部品を製造打切り後、最低 8 年保有しています。
(性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。)

●修理ご依頼に際してのご注意

1.保証規定による修理お申し出になる場合は、必ず保証書を添えてください。
2.ご指定の修理箇所、故障内容を詳しくご説明ください。
3.修理箇所のご指定がないとき、弊社では各部点検をはじめ品質、性能上必要と思われるすべての箇所を修理しますので、料金が高くなることがあります。
4.修理に関係のない付属物は、紛失などの事故をさけるため、修理品から取りはずしてお手もとに保管してください。
5.弊社指定工場修理の場合、ご購入時の外箱に入れて梱包してください。

PLUS Vision Corp.
プラスビジョン株式会社
〒112−0013 東京都文京区音羽1−20−11
http://www.plus-vision.com

プラスビジョン カスタマーセンター
TEL 0120-331-059

NKKKQA ISO 14001
ISO 14001 認証取得
PLUS本社・PLUSLAND
プラス工業入間工場
NQE-9809008A

ISO 9001 認証取得
プラス工業・入間工場
Q1001219118017

＊プラスビジョン株式会社は、プラスグループの一員として環境マネジメントシステムの国際規格であるISO14001の認証を取得しています。

©2001, PLUS Vision Corp.